

令和 5 年 6 月 2 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(S)

研究期間：2018～2022

課題番号：18H05216

研究課題名(和文)パブリック・ドメインの醸成と確保という観点からみた各種知的財産法の横断的検討

研究課題名(英文)Cross-Sectional Review of Intellectual Property Laws from the Viewpoint of Fostering and Securing Public Domain

研究代表者

田村 善之(TAMURA, Yoshiyuki)

東京大学・大学院法学政治学研究科(法学部)・教授

研究者番号：20197586

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 110,700,000円

研究成果の概要(和文)：パブリック・ドメインとは、特許権や著作権などの知的財産権の対象とならないもの、たとえば保護期間が切れた発明や著作物などのことを指す。本研究は、知的財産権が発明や著作活動を促進し、もって産業や文化の発展を期するためのものである以上、その究極的な目的は実は知的財産権の保護にはなく、むしろ、皆が使えるパブリック・ドメインを育むところにあるという発想を中心に、知的財産権の各種制度を目指した。その結果、特許保護要件、特許の保護範囲、先使用权、著作物性、著作権の保護範囲、著作権の制限など、知的財産法の各種場面で保護と利用のバランスのとれた解釈論・立法論を展開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来の知的財産法の世界では、創作者の保護が強調される結果、ともすれば知的財産権の保護は過度に強化されたものになりがちであった。本研究は、パブリック・ドメインを中心に置いた知的財産法に対するものの見方を軸に、いかにしてパブリック・ドメインを豊かにし、その利用を確保するのかという観点から各種の知的財産法の論点を考察することで、保護と利用のバランスがとれた知的財産権の制度を提言した。今後、学界はもちろん、司法や立法の場で本研究の成果が活用され、産業や文化の発展という知的財産法の本来の目的に則った運用がなされることが期待される。

研究成果の概要(英文)：Public domain refers to inventions and works that are not covered by intellectual property rights such as patents and copyrights. Typical examples are inventions and works whose protection period has expired.

This research aims to realize a system of intellectual property rights that balances protection and use, focusing on the idea that since intellectual property rights are intended to promote invention and writing activities and thereby ensure the development of industry and culture, the ultimate purpose of intellectual property rights is not to protect intellectual property rights, but rather to foster a public domain that can be used by public. As a result, we have developed well-balanced proposals in various aspects of intellectual property law, including patent protection requirements, patent protection scope, prior use, copyrightability, copyright protection scope, and copyright limitations.

研究分野：知的財産法

キーワード：知的財産 パブリック・ドメイン 特許 著作権 商標

## 1. 研究開始当初の背景

従来の知的財産法学の世界では、知的財産の根幹に置かれることが多い知的創作物や創作者概念に比して、パブリック・ドメインは知的財産権の対象ではないものとして消極的に定義されるに止まり、スポットライトが当てられることは稀であった。しかし、知的財産法が創作を奨励し産業や文化の発展を目的とする以上、その究極の目標はパブリック・ドメインを豊かにし、人々にその利用を享受させるところにあり、知的創作物の創作者に対する権利はそれを実現する手段に過ぎないはずである。本研究は、このようなパブリック・ドメインを中心に置いた知的財産法に対するものの見方を軸に、いかにしてパブリック・ドメインを豊かにし、その利用を確保するのかという観点から各種の知的財産法の論点を横断的に考察し、創作物や創作者中心主義ではない、パブリック・ドメイン中心主義の知的財産法の構築を目指す。

## 2. 研究の目的

本研究では、知的財産法の方法論として、何故パブリック・ドメインを議論のデフォルトとすべきであるのかということ特定したうえで、そこからパブリック・ドメインは単に知的財産権の対象ではないという消極的な定義ではなく、公衆がアクセスしうるものを広く包含する概念として規定する。そのうえで、イノベーションや文化創造に果たすパブリック・ドメインの役割にメスを入れる。最終的には、特にパブリック・ドメインとの境界線上の知的財産法の保護の手法に関する一般論を構築する。その際には、知的財産権は行為規制であり、権利の発生から侵害の成否を決する場面を経て権利の救済に至る一連のプロセスにおいて、関連する諸事情を関連する機関が適宜判断していくことで、最終的に望ましい行為規制を実現するという、権利成立、保護範囲、救済のあり方等の各場面で対処を連動させてプロセス的に解決するという一般的方法論を確立する。

## 3. 研究の方法

第一に、本研究は、複数の研究会(東京大学知財法研究会、北海道大学知財法研究会等)を並行させ、適宜、国際シンポジウムを挙行しながら、分担者の研究を研磨していく。

第二に、研究分担者が主導する日本弁理士会中央知的財産研究所主催の各種研究会、マックス・プランク研究所が主導し、多数の研究分担者が参加するアジア中心の知財法研究者の研究組織である Visionary IP Professors、東大、北大、名大、早大で開催する International IP Workshop for Junior Researchers などの共同研究の成果を、本研究の成果に取り込んでいく。

第三に、以上の複数のクラスターによる成果をパブリック・ドメイン研究会での発表と意見交換により有機的に結合する。

第四に、本研究の成果は商業誌を含む様々な媒体に刊行するが、長大過ぎる場合、基礎的な研究である場合など、必ずしも適切な発表媒体があるとは限らない。また知財専門誌以外の媒体に掲載される場合には、知財の研究者や実務家に十分に浸透するとは限らない。そこで、本研究の成果を発表する媒体として、知的財産法政策学 연구를継続的に発行する。

## 4. 研究成果

[総論] 田村「特許制度における創作物アプローチとパブリック・ドメイン・アプローチの相剋」『知財とパブリック・ドメイン 1』では、特許を題材に権利の成立仮定と権利の行使の場面のインタラクティブな関係に着目しながら、パブリック・ドメインを確保するための制度選択と調整

を行うという方法論を構築し、以下に紹介する全ての各論の展開につなげるバックボーンを形成した。

**[特許法]特許保護適格対象：**パブリック・ドメインを確保しつつ、インセンティブに必要な限度で特許の保護の対象を画するという難題をある程度達成できるとともに、相応に判断が容易な基準として、「物の構成又は物の変化」基準というメタファを提唱した(田村「特許適格性要件の機能と意義に関する一考察」『知財とパブリック・ドメイン 1』)。

**新規性：**新規性要件に創作物の保護ではなく、パブリック・ドメインの確保という趣旨を読み込み、公衆が意識していなくとも現にアクセスしている技術に特許を認めないための内在同一性という考え方を推奨した(吉田「パブリック・ドメイン保護要件としての新規性」『知財とパブリック・ドメイン 1』)。既知の物質の用途を見付けた用途発明として特許を付与するのは、添付文書に対する薬事規制を利用して差止請求権の範囲を調整する「ラベル論」により事実上、パブリック・ドメインの確保を図りうる医薬品に限定すべきであり、食品用途発明に疑義を唱えた(前田「用途発明の意義」『知財とパブリック・ドメイン 1』)。

**記載要件：**実施可能要件とサポート要件と機能的クレイムの保護範囲をインタラクティブに捉えながら、パイオニア特許については広い保護を与えつつ、パブリック・ドメインと境を接する発明についてそれに応じた狭い保護を与える方策を打ち出した(前田「『広すぎる』特許の規律とその法的構成」『知財とパブリック・ドメイン 1』)。

**進歩性：**顕著な効果がある場合に進歩性を認める独立要件説ではなく、パブリック・ドメイン・アプローチの下では構成が容易想到であれば進歩性を否定する二次的考慮説を支持するとともに、顕著な効果の参酌の仕方を解明した(前田「進歩性要件の意義と判断の方法」日本工業所有権学会年報44号)。さらにAIの進歩に伴い、進歩性のハードルを上げ、不必要に特許を付与することを防ぐことを提唱した(Nakayama, *Patentability and PHOSITA in the AI Era, in ARTIFICIAL INTELLIGENCE AND INTELLECTUAL PROPERTY*)。

**先使用权：**パブリック・ドメイン・アプローチに配慮した先使用权の判断基準として、先願擬制説を提唱した(田村「特許法の先使用权に関する一考察」『知財とパブリック・ドメイン 1』)。

**均等論：**パブリック・ドメインを確保するための緩衝領域を設けるために均等の第5要件の審査経過禁反言を活用する方策を提言した(吉田「クレイム制度の補完としての均等論と第5要件の役割」『知財とパブリック・ドメイン 1』)。

**間接侵害：**パブリック・ドメインに配慮しつつ、特許権者の実効的な救済を図る差止適格性説について、間接侵害の要件ではなく差止めの適否の問題として論じる拡大差止適格性説を取り入れ、新たにラベル論を組み合わせる教唆アプローチを提唱した(橘「特許権の間接侵害の理論(1)-(5)」知的財産法政策学研究51-53・63・66号)。

**差止請求権：**パブリック・ドメインに配慮して、差止請求を制限し金銭的救済に止める法理の解釈論としての可能性を探索した(鈴木「特許権侵害に対する差止請求権の制限に関する一考察」『知財とパブリック・ドメイン 1』)。さらに、パンデミック下での強制実施権導入の可能性を論じた(中山「COVID-19パンデミックにおける公衆衛生と特許」『知財とパブリック・ドメイン 1』)。

**[著作権法]パブリック・ドメインの意義：**パブリック・ドメインが豊穡な分野で文化が発展してきたという経験を辿り、その重要性を明らかにした(Hazucha「文化創出におけるパブリック・ドメインの役割」『知的財産とパブリック・ドメイン 2』)。

**表現の自由：**抽象的・一般的な規範ほど人々が得心しやすい条文となる傾向があるとの仮説に基づき、政策形成過程のバイアスに抗するために憲法に着目すべきであるという考え方(比良「デ

デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究(7・完)」知的財産法政策学研究53号)に基づき、現代美術を中心に欧州の最新の議論を摂取した(比良「フランスにおける著作権と表現の自由の『公正なバランス』の探究」『知財とパブリック・ドメイン 2』)。

**著作物性:**パブリック・ドメインの境界線上にある創作物として、応用美術(奥邨「応用美術の著作物性」L&T 96号)、香り・味(駒田「香りと味の標章性・著作物性再考(1)(2・完)」知的財産法政策学研究61・62号)、AI 創作物(奥邨「技術革新と著作権法制のメビウスの輪( )」コピーライト702号)の著作物性を検討した。

**著作権の保護範囲:**アイデア(=パブリック・ドメイン)と表現(=著作権の保護の対象)の区別を定式化するとともに(金子「著作権法上のアイデアの保護に関する一考察」『知財とパブリック・ドメイン 2』)、アイデアと表現の区別は、どの程度パブリック・ドメインが保護されているかという問題であるから、創作性のように事前にどの程度の選択肢があったのかということを考えるのではなく、事後にどの程度選択肢を残すべきかというマインド・セッティングが肝要であることを明らかにした(田村「著作権の保護範囲」『知財とパブリック・ドメイン 2』)。

**著作権の制限:**フェア・ユースの導入が挫折したことを受けて、パブリック・ドメインを確保するために、引用規定の適用(平澤「美術鑑定書判決以降における引用の裁判例に関する総合的研究」『知財とパブリック・ドメイン 2』)、小一般条項の活用(前田「柔軟な権利制限規定の設計思想と著作権者の利益」『知財とパブリック・ドメイン 2』)、金銭的請求権との組合せの可能性(村井「著作権の制限規定の立法をめぐる今後の課題」『知財とパブリック・ドメイン 2』、小嶋「権利制限規定・法定許諾による著作物の利用と対価の還流」『知財とパブリック・ドメイン 2』、孫「著作権法における補償金スキームによる利益配分モデルの補完」『知財とパブリック・ドメイン 2』)を探究した。

**寛容の利用:**インターネット時代においては孤児著作物などの寛容の利用(著作権者が権利行使をしないので寛容されている利用)が、パブリック・ドメインを守る最後の砦となっていることを指摘し、ダウンロード違法化の拡大がそれを萎縮させることに警鐘を鳴らした(田村「ダウンロード違法化拡大になぜ反対しなければならなかったのか?」『知財とパブリック・ドメイン 2』)。そして、人々の意識に対する実証研究により、営利的な利用や大規模な利用ではないものが著作権侵害とはならないと一般に考えられており、現実の寛容利用の範囲が示唆された(Hazucha「著作権法上の非変容の利用をめぐる人々の意識」『知財のフロンティア 1』)。

**国際的な政策形成過程:**国際的に著作権の規範形成は多層化しており、権利の保護の強化一辺倒ではなく、非国家的な規範による自由の確保の動きがあることを観察し、パブリック・ドメインを確保する戦略のための基礎的な考察をなした(上野「知的財産保護の多層化と自由の確保」日本国際経済法学会年報28号)。

**[不正競争防止法(データ保護・営業秘密)]** ビッグ・データの保護に関する欧米の議論の動向を検討しつつ(山根「ビッグデータの法的保護をめぐる欧米の議論動向」『知財とパブリック・ドメイン 3』)、営業秘密の保護法制と合わせて、情報集積のインセンティブとパブリック・ドメインの確保のバランスを探った(前田「データの集積・加工の促進と知的財産法によるデータの保護」『知財とパブリック・ドメイン 3』)。

**[商標法・不正競争防止法(標識法)]** パブリック・ドメインを確定する作業として、商標の保護範囲を明らかにした(平澤「商標権侵害訴訟における商標の類似性要件の実証的研究」『知財とパブリック・ドメイン 3』)。工業所有権の存続期間経過後の創作物が標識法によって保護されてよいのかという問題について、絶対的にパブリック・ドメインを確保する研究成果(宮脇「産業上の創作に関するパブリック・ドメインと不正競争防止法上の商品等表示としての保護」『知

財とパブリック・ドメイン 3』)と、機能性の理論により選択肢の有無に着目する中庸策を志向する研究成果(小嶋「標識法における機能性の法理」『知財とパブリック・ドメイン 3』)の双方を得た。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計417件（うち査読付論文 139件 / うち国際共著 6件 / うちオープンアクセス 129件）

|                                          |                        |
|------------------------------------------|------------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                          | 4. 巻<br>74巻5号          |
| 2. 論文標題<br>判例評釈の手法 - 「判民型」判例評釈の意義とその効用 - | 5. 発行年<br>2022年        |
| 3. 雑誌名<br>法曹時報                           | 6. 最初と最後の頁<br>961-1031 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし            | 査読の有無<br>無             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-              |

|                                             |                     |
|---------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                             | 4. 巻<br>21号         |
| 2. 論文標題<br>IoT時代における特許権の消尽について - 研究者の立場から - | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>IPジャーナル                           | 6. 最初と最後の頁<br>10-15 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし               | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-           |

|                                                          |                     |
|----------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                          | 4. 巻<br>75巻7号       |
| 2. 論文標題<br>新規性要件の機能 - パブリック・ドメイン・アプローチによる内在同一問題に関する一考察 - | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                           | 6. 最初と最後の頁<br>25-33 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                            | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                    | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権の過去・現在・未来                | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『まだ、法学を知らない君へ - 未来をひらく13講』   | 6. 最初と最後の頁<br>123-138 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                       | 4. 巻<br>64号         |
| 2. 論文標題<br>特許適格性要件の機能と意義に関する一考察(1)    | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>39-71 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                       | 4. 巻<br>65号           |
| 2. 論文標題<br>特許適格性要件の機能と意義に関する一考察(2)    | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>107-129 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                |                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                | 4. 巻<br>63号           |
| 2. 論文標題<br>医薬用途発明の進歩性につき発明の構成から当業者が予測しえない顕著な効果の有無の吟味を要求して原<br>判決を破棄した最高裁判決について(1)~局所的眼科用処方物事件~ | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                                           | 6. 最初と最後の頁<br>195-216 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                 | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                                          | 国際共著<br>-             |

|                                                              |                    |
|--------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                              | 4. 巻<br>273号       |
| 2. 論文標題<br>タコの形状を模した滑り台の著作物性を否定した知財高裁判決(令和3年12月8日知財高裁判決)について | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                           | 6. 最初と最後の頁<br>1-31 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                               | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                        | 国際共著<br>-          |

|                                             |                    |
|---------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                             | 4. 巻<br>66号        |
| 2. 論文標題<br>タコの形状を模した滑り台の著作物性を否定した知財高裁判決について | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>9-67 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)      | 国際共著<br>-          |

|                                        |                 |
|----------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>733号    |
| 2. 論文標題<br>舞台演出と法学研究と                  | 5. 発行年<br>2022年 |
| 3. 雑誌名<br>コピライト                        | 6. 最初と最後の頁<br>1 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-       |

|                                                           |                    |
|-----------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>青木博通 = 青木大也 = 関真也 = 田村善之 = 中川隆太郎 = 平澤卓人 = 山本真祐子 | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>ファッションIPローの可能性 (1)                             | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>有斐閣Online ロージャーナル                               | 6. 最初と最後の頁<br>1-11 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                    | 国際共著<br>-          |

|                                                           |                    |
|-----------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>青木博通 = 青木大也 = 関真也 = 田村善之 = 中川隆太郎 = 平澤卓人 = 山本真祐子 | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>ファッションIPローの可能性 (2)                             | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>有斐閣Online ロージャーナル                               | 6. 最初と最後の頁<br>1-11 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                    | 国際共著<br>-          |



|                                                 |                    |
|-------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                 | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>特許制度における創作物アプローチとパブリック・ドメイン・アプローチの相剋 | 5. 発行年<br>2023年    |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』              | 6. 最初と最後の頁<br>3-53 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                  | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難          | 国際共著<br>-          |

|                                        |                      |
|----------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>-            |
| 2. 論文標題<br>特許適格性要件の機能と意義に関する一考察        | 5. 発行年<br>2023年      |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』     | 6. 最初と最後の頁<br>57-104 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-            |

|                                             |                       |
|---------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                             | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>特許法の先使用权に関する一考察 - 制度趣旨に鑑みた要件論の展開 | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』          | 6. 最初と最後の頁<br>295-359 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-             |

|                                                                  |                     |
|------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                  | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>ダウンロード違法化拡大になぜ反対しなかったのか? - インターネット時代の著作権法における寛容的利用の意義 | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                              | 6. 最初と最後の頁<br>83-99 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                           | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権の保護範囲                    | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』    | 6. 最初と最後の頁<br>151-190 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                                |                    |
|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>プロ・イノベーションのための市場と法の役割分担：インセンティブ支援型知的財産法の意義 - 限定提供データの不正利用行為規制を素材として | 5. 発行年<br>2023年    |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』                                     | 6. 最初と最後の頁<br>3-20 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                 | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                         | 国際共著<br>-          |

|                                                                             |                       |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                             | 4. 巻<br>67号           |
| 2. 論文標題<br>サポート要件と実施可能要件と機能的クレイムの関係に関する一考察 (1) クレイムの全範囲にわたって実施可能とする必要があるのか？ | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                        | 6. 最初と最後の頁<br>101-130 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                              | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                      | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>政策・産業界の動き                   | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『年報知的財産法2022-2023』           | 6. 最初と最後の頁<br>172-189 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>AIと進歩性                      | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』     | 6. 最初と最後の頁<br>175-211 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>COVID-19パンデミックにおける公衆衛生と特許   | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』     | 6. 最初と最後の頁<br>401-442 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                     |                     |
|-----------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>Branislav Hazucha                         | 4. 巻<br>26(1-2)     |
| 2. 論文標題<br>Copyrightability of Short Literary Works | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>Intellectual Property                     | 6. 最初と最後の頁<br>20-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難              | 国際共著<br>-           |

|                                                            |                    |
|------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>Branislav Hazucha (津幡笑訳)                         | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>文化創出におけるパブリックドメインの役割 - オープンソースソフトウェアとマッシュアップの事例 | 5. 発行年<br>2023年    |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                        | 6. 最初と最後の頁<br>3-30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                             | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                     | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>27号           |
| 2. 論文標題<br>営業秘密侵害と差止請求                 | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>別冊パテント                       | 6. 最初と最後の頁<br>229-262 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                         |                    |
|-----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>落合孝文 = 加藤尚徳 = 山根崇邦 = 生貝直人     | 4. 巻<br>97号        |
| 2. 論文標題<br>〔座談会〕EUデータ法構想と包括的データ活用法制の可能性 | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology              | 6. 最初と最後の頁<br>2-28 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-          |

|                                                            |                      |
|------------------------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                            | 4. 巻<br>-            |
| 2. 論文標題<br>ビッグデータの法的保護をめぐる欧米の議論動向 - データプロデューサーの権利の創設提案を中心に | 5. 発行年<br>2023年      |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』                 | 6. 最初と最後の頁<br>99-137 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                             | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                     | 国際共著<br>-            |

|                                                         |                    |
|---------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                                         | 4. 巻<br>51(6)      |
| 2. 論文標題<br>Damages for Trade Secret Protection in Japan | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>Patents & Licensing                           | 6. 最初と最後の頁<br>8-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                        | 4. 巻<br>27号           |
| 2. 論文標題<br>著作物の利用に関するプラットフォームの役割と責任    | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>別冊パテント                       | 6. 最初と最後の頁<br>155-169 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                        | 4. 巻<br>98号         |
| 2. 論文標題<br>越境的要素を有する行為による特許権侵害         | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology             | 6. 最初と最後の頁<br>11-23 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>特許権侵害に対する差止請求権の制限に関する一考察    | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』     | 6. 最初と最後の頁<br>363-400 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                   |                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                                                                                   | 4. 巻<br>52(4)      |
| 2. 論文標題<br>Patent Infringement through Use of Servers Located outside Country: Dwango v. FC2 Case | 5. 発行年<br>2023年    |
| 3. 雑誌名<br>Patents & Licensing                                                                     | 6. 最初と最後の頁<br>1-17 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                    | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                            | 国際共著<br>-          |

|                                                                        |                       |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                        | 4. 巻<br>30号           |
| 2. 論文標題<br>いわゆる内在的同一について、組成が同一であっても引用例に技術的な効果が示されていない場合は新規性を肯定できるとした事例 | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                                                  | 6. 最初と最後の頁<br>277-280 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                      |
|----------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                        | 4. 巻<br>76巻1号        |
| 2. 論文標題<br>特許法104条の生産方法の推定に関する現代的解釈    | 5. 発行年<br>2023年      |
| 3. 雑誌名<br>パテント                         | 6. 最初と最後の頁<br>90-101 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-            |

|                                            |                     |
|--------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                            | 4. 巻<br>75号         |
| 2. 論文標題<br>公知の用途と区別ができないとして用途発明が特許無効とされた事例 | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>特許研究                             | 6. 最初と最後の頁<br>60-74 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)     | 国際共著<br>-           |

|                                                                                 |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                                 | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>パブリック・ドメイン保護要件としての新規性 / 進歩性の再構成 - 内在的同一について特許を認めた口シュv. アムジェン事件を端緒として | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』                                              | 6. 最初と最後の頁<br>141-174 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                          | 国際共著<br>-             |

|                                                                           |                       |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                           | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>クレーム制度の補完としての均等論と第5要件の検討 - 第4要件との関係から考えるコンプライト・パーとフレキシブル・パーの相克 | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』                                        | 6. 最初と最後の頁<br>247-293 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                            | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                    | 国際共著<br>-             |

|                                                                  |                       |
|------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                                   | 4. 巻<br>72巻8号         |
| 2. 論文標題<br>後出の特許による既存事業の差止めは許されるか：特殊パラメータ発明の新規性・進歩性・記載要件・先使用权の検討 | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>知財管理                                                   | 6. 最初と最後の頁<br>899-911 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                           | 国際共著<br>-             |

|                                         |                      |
|-----------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                          | 4. 巻<br>64号          |
| 2. 論文標題<br>ソフトウェア関連発明の特許性判断における進歩性要件の役割 | 5. 発行年<br>2022年      |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                    | 6. 最初と最後の頁<br>73-112 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-            |

|                                                                   |                     |
|-------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                                    | 4. 巻<br>75巻11号      |
| 2. 論文標題<br>新たなビジネスモデルと特許権・著作権侵害の損害額算定上の課題 - 知的財産権のエンフォースメントの新しい地平 | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                                    | 6. 最初と最後の頁<br>35-55 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                    | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                            | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>用途発明の意義 - 用途特許の効力と新規性の判断    | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』     | 6. 最初と最後の頁<br>105-139 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                           |                       |
|-----------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                            | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>「広すぎる」特許の規律とその法的構成 - クレーム解釈・記載要件の役割分担と特殊法理の必要性 | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』                        | 6. 最初と最後の頁<br>215-246 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                    | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>柔軟な権利制限規定の設計思想と著作権者の利益の意義   | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』    | 6. 最初と最後の頁<br>193-216 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                            |                       |
|--------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                             | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>データの集積・加工の促進と知的財産法によるデータの保護     | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』 | 6. 最初と最後の頁<br>139-163 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-             |



|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>橘 雄介                        | 4. 巻<br>63号           |
| 2. 論文標題<br>特許権の間接侵害の理論(4)             | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>141-194 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>橘 雄介                        | 4. 巻<br>66号           |
| 2. 論文標題<br>特許権の間接侵害の理論(5)             | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>143-183 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                                                |                     |
|----------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>橘 雄介                                                 | 4. 巻<br>55巻2号       |
| 2. 論文標題<br>Acacia事件を通して見るEUにおけるスペアパーツと意匠権 - 修理する権利論からの再評価の試み - | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>福岡工業大学研究論集                                           | 6. 最初と最後の頁<br>79-96 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                 | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                          | 国際共著<br>-           |

|                                                                             |                       |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>橘 雄介                                                              | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>Kimble最高裁判決を通して見る米国における特許権のミスマッチの展開 - 財産権・反トラスト・パブリックドメインという観点から | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇』                                          | 6. 最初と最後の頁<br>443-472 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                              | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                      | 国際共著<br>-             |

|                                            |                       |
|--------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                            | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>香りと味の標章性・著作物性再考 - 欧州の判決例等を手がかりに | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』        | 6. 最初と最後の頁<br>119-147 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-             |

|                                                                        |                       |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                                                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>不正競争防止法における理由のない特許権侵害警告 - 特許権者による裁判外の差止請求と市場競争の自由とのバランスのとり方 | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』                             | 6. 最初と最後の頁<br>165-178 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>45号           |
| 2. 論文標題<br>「知的財産法と不法行為法」の現在地           | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>190-212 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>著作権法による自由                   | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』    | 6. 最初と最後の頁<br>31-42 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                   |                       |
|---------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                                   | 4. 巻<br>30号           |
| 2. 論文標題<br>リツイートによる写真の氏名表示部分のトリミング表示を氏名表示権侵害とした事例 | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説 Watch                            | 6. 最初と最後の頁<br>285-288 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)            | 国際共著<br>-             |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                        | 4. 巻<br>96号        |
| 2. 論文標題<br>応用美術の著作物性～分離可能性説の深化に向けた一考察～ | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology             | 6. 最初と最後の頁<br>1-10 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                                |                       |
|------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                                | 4. 巻<br>31号           |
| 2. 論文標題<br>ファイルのアップロードとそのURLの掲示をあわせて送信可能化とした事例 | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説 Watch                         | 6. 最初と最後の頁<br>289-292 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                 | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)         | 国際共著<br>-             |

|                                                                        |                       |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                                                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>Google v. Oracle事件合衆国最高裁判決 - Java APIを実現するプログラムのフェア・ユースについて | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                                    | 6. 最初と最後の頁<br>323-346 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                 | 国際共著<br>-             |

|                                                       |                       |
|-------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                                       | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>欧州におけるデジタル消尽の行方 - Tom Kabinet事件CJEU判決を踏まえて | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                   | 6. 最初と最後の頁<br>347-367 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                | 国際共著<br>-             |

|                                            |                     |
|--------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                            | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>人工知能に特有の知的成果物の営業秘密・限定提供データ該当性   | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』 | 6. 最初と最後の頁<br>79-97 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-           |

|                                                                                  |                       |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                                                  | 4. 巻<br>63号           |
| 2. 論文標題<br>「置き換え可能に構成した」フレーム構造に係る特許権の侵害と付随品等への特許法102条2項の適用の可否 (ベッド等におけるフレーム構造事件) | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                             | 6. 最初と最後の頁<br>279-321 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                   | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                           | 国際共著<br>-             |

|                                                    |                       |
|----------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                    | 4. 巻<br>30号           |
| 2. 論文標題<br>後発医薬品の薬価収載に伴う値下げによる損害・消費税の損害額の算定に関する取扱い | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説 Watch                             | 6. 最初と最後の頁<br>281-284 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                     | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)             | 国際共著<br>-             |

|                                                                                          |                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                                                          | 4. 巻<br>95巻3号         |
| 2. 論文標題<br>著作権法と刑法の語らい(5)ハイスコアガール事件 著作権法における民事と刑事の役割分担に向けて：それにつけても著作権法119条1項は改正されるべきである。 | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                                                                           | 6. 最初と最後の頁<br>117-122 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                   | 国際共著<br>-             |

|                                                         |                       |
|---------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権法上のアイデアに関する一考察 - アイデア・表現二分論におけるアイデア二分論の試み | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                     | 6. 最初と最後の頁<br>103-118 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-             |

|                                            |                       |
|--------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                            | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>メタタグ・検索連動型広告における商標の使用           | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』 | 6. 最初と最後の頁<br>291-309 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-             |

|                                                        |                       |
|--------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                                       | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>未来の図書館と著作権法のあり方の検討に向けて - 令和3年著作権法改正の意義と課題 - | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『図書館とポスト真実』                                  | 6. 最初と最後の頁<br>143-175 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                 | 国際共著<br>-             |

|                                                          |                       |
|----------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権の制限規定の立法をめぐる今後の課題 - 2018年・2021年著作権法改正を踏まえて | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                      | 6. 最初と最後の頁<br>217-234 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                   | 国際共著<br>-             |

|                                                                        |                     |
|------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                                                       | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>フランスにおける著作権と表現の自由の「公正なバランス」の探求 - Klasen事件・カルメル派修道女の対話事件を中心に | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                                    | 6. 最初と最後の頁<br>43-82 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                 | 国際共著<br>-           |

|                                         |                       |
|-----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>孫 友容                          | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権法における補償金スキームによる利益配分モデルの補完 | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』     | 6. 最初と最後の頁<br>269-288 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-             |

|                                                      |                     |
|------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                                      | 4. 巻<br>95号         |
| 2. 論文標題<br>指定商品やその容器の立体的形状のみからなる商標の商標法3条1項3号・同条2項該当性 | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                           | 6. 最初と最後の頁<br>40-48 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                       | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難               | 国際共著<br>-           |

|                                                      |                     |
|------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                                      | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>産業上の創作に関するパブリック・ドメインと不正競争防止法上の商品等表示としての保護 | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』           | 6. 最初と最後の頁<br>23-44 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                       | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難               | 国際共著<br>-           |

|                                            |                       |
|--------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                            | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>商標的使用論の再構成                      | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』 | 6. 最初と最後の頁<br>265-309 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-             |

|                                                      |                       |
|------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                                      | 4. 巻<br>66号           |
| 2. 論文標題<br>ツイートの書籍への掲載が著作権法32条1項の適法な引用とされた例 #KuToo事件 | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                 | 6. 最初と最後の頁<br>185-228 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                       | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)               | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                        | 4. 巻<br>76巻2号       |
| 2. 論文標題<br>不使用取消審判と商標的使用               | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>パテント                         | 6. 最初と最後の頁<br>30-38 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>パロディ                        | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『重要判例分析×ブランド戦略推進 商標の法律実務』    | 6. 最初と最後の頁<br>344-350 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                         |                       |
|-----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>美術鑑定書判決以降における引用の裁判例に関する総合的研究 | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』     | 6. 最初と最後の頁<br>289-322 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-             |

|                                            |                       |
|--------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                            | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>商標権侵害訴訟における商標の類似性要件の実証的研究       | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』 | 6. 最初と最後の頁<br>181-263 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-             |

|                                                   |                     |
|---------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                                   | 4. 巻<br>67巻6号       |
| 2. 論文標題<br>アパレル商品のリメイク品の販売による著名表示の稀釈および汚染が肯定された事例 | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>A.I.P.P.I.                              | 6. 最初と最後の頁<br>30-55 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>-           |



|                                                         |                       |
|---------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>権利制限規定・法定許諾による著作物の利用と対価の還元 - 英豪両国の著作権法を手がかりに | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                     | 6. 最初と最後の頁<br>235-267 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-             |

|                                            |                     |
|--------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                            | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>標識法における機能性法理                    | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇』 | 6. 最初と最後の頁<br>45-78 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-           |

|                                                                                |                     |
|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山本 真祐子                                                               | 4. 巻<br>75号         |
| 2. 論文標題<br>商品に付した単一色で構成される表示につき、混同のおそれと著名性を否定することにより不正競争防止法2条1項1号・2号の保護を否定した事例 | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>特許研究                                                                 | 6. 最初と最後の頁<br>75-97 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                 | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                          | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山本 真祐子                       | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>不正競争防止法による形態保護、商品等表示としての保護  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『重要判例分析×ブランド戦略推進 商標の法律実務』    | 6. 最初と最後の頁<br>148-152 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                   |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Christoph Rademacher & Roberto Carapeto                                                 | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>Trademark Parody under Japanese Trademark Law: Finding the Fine Line in Japanese Humor | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>Charting Limitations on Trademark Rights                                                | 6. 最初と最後の頁<br>296-317 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                    | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                            | 国際共著<br>該当する          |

|                                                          |                       |
|----------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Christoph Rademacher (森綾香訳)                    | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権、パロディ、パブリック・ドメイン - ドイツ及び日本著作権法に対する文化的影響の検討 | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇』                      | 6. 最初と最後の頁<br>369-395 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                   | 国際共著<br>-             |

|                                                          |                      |
|----------------------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                          | 4. 巻<br>59号          |
| 2. 論文標題<br>特許法102条1項の逸失利益の推定とその覆滅について - 美容器事件知財高裁大合議判決 - | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                     | 6. 最初と最後の頁<br>93-150 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                           | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                    | 国際共著<br>-            |

|                                                               |                       |
|---------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                               | 4. 巻<br>28号           |
| 2. 論文標題<br>特許発明の特徴が侵害製品の一部に及ぶに止まる場合の特許法102条1項の逸失利益の推定とその覆滅の過程 | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                                         | 6. 最初と最後の頁<br>293-296 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                         | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                           |                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                           | 4. 巻<br>236号       |
| 2. 論文標題<br>特許にかかる電子部品を取り替えてトナーカートリッジの再生品を製造販売する行為が権利濫用を理由に特許権を侵害しないとされた事例～情報記憶装置事件東京地裁判決（令和2年7月22日言渡）の検討～ | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                                        | 6. 最初と最後の頁<br>1-32 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                                             | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                                                                     | 国際共著<br>-          |

|                                                      |                    |
|------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                      | 4. 巻<br>60号        |
| 2. 論文標題<br>特許法102条各項の役割分担論と損害論定立の試み - 続・知的財産権と損害賠償 - | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                 | 6. 最初と最後の頁<br>1-50 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                        | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                | 国際共著<br>-          |

|                                             |                    |
|---------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                             | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>蜘蛛の糸 - 「知財の哲学」「知財の理論」からみた「知財の正義」 | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>『知財のフロンティア 第1巻』                   | 6. 最初と最後の頁<br>3-32 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし               | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-          |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                       | 4. 巻<br>74巻11号(別冊26号) |
| 2. 論文標題<br>特許適格対象の画定における物の本来の機能論の意義   | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                        | 6. 最初と最後の頁<br>1-24    |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-             |

|                                              |                       |
|----------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                              | 4. 巻<br>29号           |
| 2. 論文標題<br>特許製品を取り替えて再生品を製造販売する行為と消尽・権利濫用の成否 | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                        | 6. 最初と最後の頁<br>289-292 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)       | 国際共著<br>-             |

|                                                                                        |                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                        | 4. 巻<br>61号           |
| 2. 論文標題<br>リツイートによる公衆送信権侵害の成否とその際のトリミングに起因する氏名表示権と同一性保持権侵害の成否 - リツイート事件知財高裁・最高裁判決の検討 - | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                                   | 6. 最初と最後の頁<br>263-294 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>不法行為(2) - 不正競争              | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『国際私法判例百選 (第3版)』             | 6. 最初と最後の頁<br>72-73 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>728号       |
| 2. 論文標題<br>著作権の保護範囲                    | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>コピライト                        | 6. 最初と最後の頁<br>2-30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之(張鵬訳)                   | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>事例評釈的意義                     | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>『知識産権審判選輯と事例(専利巻)』           | 6. 最初と最後の頁<br>1-29 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之(張鵬訳)                   | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>事例評釈的意義                     | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>『知識産権審判選輯と事例(著作権巻)』          | 6. 最初と最後の頁<br>1-29 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之(張鵬訳)                   | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>事例評釈的意義                     | 5. 発行年<br>2023年    |
| 3. 雑誌名<br>『知識産権審判選輯と事例(反不正競争巻)』        | 6. 最初と最後の頁<br>1-29 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之(張鵬訳)                   | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>事例評釈的意義                     | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>『知識産権審判選輯と事例(商標巻)』           | 6. 最初と最後の頁<br>1-29 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>ソフトウェア関連発明の特許適格性について        | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産に関する日中共同研究調査報告書』        | 6. 最初と最後の頁<br>152-177 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                                     |                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                                     | 4. 巻<br>252号       |
| 2. 論文標題<br>医薬用途発明の進歩性につき発明の構成から当業者が予測し得ない顕著な効果の有無の吟味を要求して原判決を破棄した最高裁判決について～局所的眼科用処方物事件最高裁判決(令和元年8月27日判決言渡)の検討(その2)～ | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                                                  | 6. 最初と最後の頁<br>1-15 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                      | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                                              | 国際共著<br>-          |

|                                                                    |                     |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之 = 張 唯瑜                                             | 4. 巻<br>62号         |
| 2. 論文標題<br>京銘菓八ッ橋の創業年や来歴に関する表示について不正競争防止法上の品質誤認表示該当性を否定した判決: 八ッ橋事件 | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                               | 6. 最初と最後の頁<br>71-97 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                     | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                             | 国際共著<br>-           |

|                                          |                       |
|------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                          | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>侵害プレミアムを考慮した相当実施料額をどのように算定するか | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産に関する日中共同研究調査報告書』          | 6. 最初と最後の頁<br>110-126 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>71巻4号         |
| 2. 論文標題<br>COVID-19パンデミックにおける公衆衛生と特許   | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>知財管理                         | 6. 最初と最後の頁<br>566-585 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                           |                    |
|-------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                           | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>職務発明制度とイノベーション - 基本的構造の頑健性と合理性 | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>『知財のフロンティア 第2巻』                 | 6. 最初と最後の頁<br>3-44 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし            | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難    | 国際共著<br>-          |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>61号        |
| 2. 論文標題<br>特許法102条3項の損害算定における侵害プレミアム   | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                   | 6. 最初と最後の頁<br>1-36 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-          |

|                                        |                        |
|----------------------------------------|------------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>74巻11号 (別冊26号) |
| 2. 論文標題<br>AI関連発明の発明者                  | 5. 発行年<br>2021年        |
| 3. 雑誌名<br>パテント                         | 6. 最初と最後の頁<br>49-69    |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-              |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>政策・産業界の動き                   | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『年報知的財産法2021-2022』           | 6. 最初と最後の頁<br>162-183 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                   |                     |
|---------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                                   | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>COVID-19パンデミック下での特許保護と医薬品アクセスをめぐる議論の諸相 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『年報知的財産法2021-2022』                      | 6. 最初と最後の頁<br>14-32 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>-           |

|                                                                  |                     |
|------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>Branislav Hazucha                                      | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>Artificial Intelligence, Creativity and Copyright Law | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Contactless Challenges in Intellectual Property Law    | 6. 最初と最後の頁<br>11-57 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                           | 国際共著<br>-           |

|                                                   |                       |
|---------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Branislav Hazucha = 清水 紀子               | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権法上の非変容的利用をめぐる人々の意識 日米独仏の文化比較による実証研究 | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財のフロンティア 第1巻』                         | 6. 最初と最後の頁<br>285-312 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>-             |



|                                              |                     |
|----------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                              | 4. 巻<br>91号         |
| 2. 論文標題<br>営業秘密侵害に対する損害賠償額の算定 - エディオン事件をめぐって | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                   | 6. 最初と最後の頁<br>13-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-           |

|                                                                      |                    |
|----------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                                      | 4. 巻<br>59号        |
| 2. 論文標題<br>アメリカにおける営業秘密の保護(3・完) - 連邦営業秘密防衛法(DTSA)の運用実態と日本の営業秘密訴訟との比較 | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                 | 6. 最初と最後の頁<br>7-92 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                       | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                | 国際共著<br>-          |

|                                                                                                                         |                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                                                                                         | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>The Criminal Punishment for Trade Secret Infringement and the Element of "Purpose of Wrongful Gain" in Japan | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Trade Secret Protection: Asia at a Crossroads                                                                 | 6. 最初と最後の頁<br>62-70 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                          | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                                  | 国際共著<br>-           |

|                                         |                     |
|-----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                         | 4. 巻<br>21巻12号      |
| 2. 論文標題<br>最新判例にみる営業秘密漏えい時の民事的・刑事的対応の検討 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>ビジネス法務                        | 6. 最初と最後の頁<br>14-18 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

|                                                          |                     |
|----------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                          | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>知的財産制度の正当化根拠をめぐる権利論と功利主義の相克 - 知的財産と法哲学の交錯の一断面 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『知財のフロンティア 第1巻』                                | 6. 最初と最後の頁<br>55-88 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                           | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                   | 国際共著<br>-           |

|                                                                    |                       |
|--------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                                    | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>知的財産権の政策形成をめぐる立法裁量とその制約 - データベース権の廃止論とEU基本権憲章との関係を素材として | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法制と憲法的価値』                                           | 6. 最初と最後の頁<br>297-316 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                     | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                             | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>第29条 (他人の特許権等との関係)          | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標法コンメンタール (新版)』            | 6. 最初と最後の頁<br>505-518 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                |                       |
|------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                                | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>特許権者の国内実施要件に関する一考察 - 条約整合性と政策的意義の検討 | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財のフロンティア 第2巻』                      | 6. 最初と最後の頁<br>279-303 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                 | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         | 国際共著<br>-             |

|                                             |                     |
|---------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                             | 4. 巻<br>93巻12号      |
| 2. 論文標題<br>知的財産の保護と利用に関するデジタルプラットフォームの役割と責任 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                              | 6. 最初と最後の頁<br>82-87 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-           |

|                                                         |                    |
|---------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                                         | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>Over View and Summary                        | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>Trade Secret Protection: Asia at a Crossroads | 6. 最初と最後の頁<br>7-16 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-          |

|                                                         |                     |
|---------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文 = 服部 誠                                  | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>Protection Order System                      | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Trade Secret Protection: Asia at a Crossroads | 6. 最初と最後の頁<br>43-51 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-           |

|                                                         |                     |
|---------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                                         | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>Damages                                      | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Trade Secret Protection: Asia at a Crossroads | 6. 最初と最後の頁<br>52-61 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-           |

|                                                                                    |                      |
|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                                    | 4. 巻<br>61号          |
| 2. 論文標題<br>パブリック・ドメイン保護要件としての新規性 / 進歩性の再構成 - 内在的同一について特許を認めたロシュ v. アムジェン事件を端緒として - | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                               | 6. 最初と最後の頁<br>71-109 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                     | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                             | 国際共著<br>-            |

|                                                 |                     |
|-------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                  | 4. 巻<br>74巻7号       |
| 2. 論文標題<br>進歩性判断における「予測できない顕著な効果」の意義 (特集 知財と教育) | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                  | 6. 最初と最後の頁<br>64-73 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                  | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)          | 国際共著<br>-           |

|                                        |                      |
|----------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>44号          |
| 2. 論文標題<br>進歩性要件の意義と判断の方法              | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>91-112 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-            |

|                                                                    |                     |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                                     | 4. 巻<br>93号         |
| 2. 論文標題<br>判例研究 カブコン対コーエーテックモ事件控訴審 ゲームのビジネスモデルに関する特許について間接侵害を認めた事例 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                                         | 6. 最初と最後の頁<br>66-76 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                     | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                             | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>創業イノベーションに向けた特許制度と薬事法制の協働   | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『知財のフロンティア 第2巻』              | 6. 最初と最後の頁<br>45-71 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                              |                        |
|----------------------------------------------|------------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                               | 4. 巻<br>74巻11号 (別冊26号) |
| 2. 論文標題<br>ビジネス方法・ゲームのルールに関する発明の特許性と技術的範囲の判断 | 5. 発行年<br>2021年        |
| 3. 雑誌名<br>パテント                               | 6. 最初と最後の頁<br>25-47    |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)       | 国際共著<br>-              |

|                                                         |                     |
|---------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                          | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>The Requirement for Trade Secrets in Japan   | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Trade Secret Protection: Asia at a Crossroads | 6. 最初と最後の頁<br>17-25 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>著作権法における「海賊版」概念             | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法制と憲法的価値』               | 6. 最初と最後の頁<br>43-65 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>第7条の2 (地域団体商標)              | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標法コンメンタール(新版)』             | 6. 最初と最後の頁<br>297-311 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                 |                       |
|-------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>橘 雄介                                  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>国及び欧州における修理する権利の動向 - 環境政策と知的財産権の交錯 - | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『社会環境学へのアプローチとその展望』                   | 6. 最初と最後の頁<br>148-171 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難          | 国際共著<br>-             |

|                                          |                       |
|------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                          | 4. 巻<br>28号           |
| 2. 論文標題<br>ドキュメンタリー映画における報道映像の出所を明示しない引用 | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                    | 6. 最初と最後の頁<br>289-292 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)    | 国際共著<br>-             |

|                                                              |                     |
|--------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                                              | 4. 巻<br>489号        |
| 2. 論文標題<br>知的財産法分野 < 創刊40周年記念連載 > (法学教室プレイバック - あの特集、あの連載 8) | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>月刊法学教室                                             | 6. 最初と最後の頁<br>62-65 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                               | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                       | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                                                                 |                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                                                                                                                                 | 4. 巻<br>46巻5号         |
| 2. 論文標題<br>Infringement Warnings without Reason and Japan's Unfair Competition Prevention Act: Overview of Court Decisions and Future Prospects | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>A.I.P.P.I. International ed.                                                                                                          | 6. 最初と最後の頁<br>289-297 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                                                  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                                                          | 国際共著<br>-             |

|                                               |                     |
|-----------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                               | 4. 巻<br>61号         |
| 2. 論文標題<br>香りと味の標章性・著作物性再考(1) - 欧州の判決例等を手がかりに | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                          | 6. 最初と最後の頁<br>49-70 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)         | 国際共著<br>-           |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                       | 4. 巻<br>29号           |
| 2. 論文標題<br>他人の氏名のローマ字表記を含む商標の登録可能性    | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                 | 6. 最初と最後の頁<br>277-280 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>属地主義                        | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『国際私法判例百選(第3版)』              | 6. 最初と最後の頁<br>82-83 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                              |                       |
|----------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                              | 4. 巻<br>62号           |
| 2. 論文標題<br>香りと味の標章性・著作物性再考（2完） 欧州の判決例等を手がかりに | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                         | 6. 最初と最後の頁<br>187-200 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）        | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                       |                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                                                                                       | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>International Jurisdictions and the Applicable Law on Trade Secret Infringement Litigation | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Trade Secret Protection: Asia at a Crossroads                                               | 6. 最初と最後の頁<br>34-42 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                                         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                | 国際共著<br>-           |

|                                         |                       |
|-----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                         | 4. 巻<br>29号           |
| 2. 論文標題<br>芸能リポーターによる音源の公開と著作権法（ミヤネ屋事件） | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                   | 6. 最初と最後の頁<br>281-284 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）   | 国際共著<br>-             |

|                                         |                       |
|-----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                         | 4. 巻<br>36巻6号         |
| 2. 論文標題<br>情報解析と著作権 - 「機械学習パラダイス」としての日本 | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>人工知能                          | 6. 最初と最後の頁<br>745-749 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）   | 国際共著<br>-             |



|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>722号       |
| 2. 論文標題<br>「人権」としての著作権？                | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>コピライト                        | 6. 最初と最後の頁<br>2-33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                                                                 |                     |
|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                                                                 | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>The Validity and Scope of Confidentiality and Noncompetition Clauses | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Trade Secret Protection: Asia at a Crossroads                         | 6. 最初と最後の頁<br>26-33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                  | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                          | 国際共著<br>-           |

|                                                                        |                     |
|------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                                                        | 4. 巻<br>1202号       |
| 2. 論文標題<br>Google v. Oracle事件合衆国最高裁判決 - Java APIを実現するプログラムのフェア・ユースについて | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>NBL                                                          | 6. 最初と最後の頁<br>20-30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                 | 国際共著<br>-           |

|                                                                      |                     |
|----------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                                      | 4. 巻<br>157巻1号      |
| 2. 論文標題<br>知的財産との関係が「薄い」製品・サービスに係る売上減少による逸失利益：寄与率・部分実施、付随品の取扱いに関する試論 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>民商法雑誌                                                      | 6. 最初と最後の頁<br>47-76 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                       | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                               | 国際共著<br>-           |

|                                                       |                     |
|-------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                       | 4. 巻<br>7号          |
| 2. 論文標題<br>著作権法上のアイデアに関する一考察 アイデア・表現二分論におけるアイデア二分論の試み | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産紛争の最前線                                  | 6. 最初と最後の頁<br>69-78 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                | 国際共著<br>-           |

|                                                         |                     |
|---------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                         | 4. 巻<br>94号         |
| 2. 論文標題<br>判例研究 金魚電話ボックス事件控訴審 現代美術作品に関する著作物性・類似性、依拠性の判断 | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                              | 6. 最初と最後の頁<br>65-75 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-           |

|                                        |                   |
|----------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                        | 4. 巻<br>-         |
| 2. 論文標題<br>第1条 (目的)                    | 5. 発行年<br>2022年   |
| 3. 雑誌名<br>『商標法コンメンタール (新版) 』           | 6. 最初と最後の頁<br>3-7 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |

|                                           |                      |
|-------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                           | 4. 巻<br>-            |
| 2. 論文標題<br>日本の著作権法関係裁判例における憲法・表現の自由への言及状況 | 5. 発行年<br>2022年      |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法制と憲法的価値』                  | 6. 最初と最後の頁<br>94-119 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし            | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難    | 国際共著<br>-            |

|                                        |                   |
|----------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                       | 4. 巻<br>798号      |
| 2. 論文標題<br>現代美術の著作物性 - 金魚電話ボックス事件      | 5. 発行年<br>2021年   |
| 3. 雑誌名<br>法学セミナー                       | 6. 最初と最後の頁<br>131 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |

|                                        |                 |
|----------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                       | 4. 巻<br>418号    |
| 2. 論文標題<br>令和3年著作権法改正：図書館関係の権利制限規定の見直し | 5. 発行年<br>2021年 |
| 3. 雑誌名<br>カレントアウェアネス-E                 | 6. 最初と最後の頁<br>- |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-       |

|                                                                   |                     |
|-------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                                                  | 4. 巻<br>61号         |
| 2. 論文標題<br>フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(9・完) - 日本著作権法の制限規定に対する示唆 - | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                              | 6. 最初と最後の頁<br>37-48 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                    | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                            | 国際共著<br>-           |

|                                                                           |                     |
|---------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                                                          | 4. 巻<br>494号        |
| 2. 論文標題<br>令和3年著作権法改正 - インターネットを通じた図書館資料へのアクセスの容易化と放送番組の同時配信等における権利処理の円滑化 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                                                            | 6. 最初と最後の頁<br>58-64 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                            | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                    | 国際共著<br>-           |

|                                        |                   |
|----------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                       | 4. 巻<br>805号      |
| 2. 論文標題<br>音楽教室事件控訴審                   | 5. 発行年<br>2022年   |
| 3. 雑誌名<br>法学セミナー                       | 6. 最初と最後の頁<br>125 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                       | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>知的財産権の憲法化の背景と意義             | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財のフロンティア 第1巻』              | 6. 最初と最後の頁<br>113-138 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                               |                     |
|-----------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                              | 4. 巻<br>118巻8号      |
| 2. 論文標題<br>知財のエスプリ - 知財便り - 欧州における知的財産権の「憲法化」 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>発明                                  | 6. 最初と最後の頁<br>46-47 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難        | 国際共著<br>-           |

|                                             |                       |
|---------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                            | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権と基本権をめぐる欧州人権裁判所と欧州司法裁判所の協働と乖離 | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法制と憲法的価値』                    | 6. 最初と最後の頁<br>243-267 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-             |

|                                              |                     |
|----------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>孫 友容                               | 4. 巻<br>2021年号      |
| 2. 論文標題<br>著作権法における補償金スキーム 利益配分モデルの転換という視点から | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>九州法学会会報                            | 6. 最初と最後の頁<br>24-27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)       | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>孫 友容                         | 4. 巻<br>3号          |
| 2. 論文標題<br>簡評日本音楽教室案                   | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>娯楽法内参                        | 6. 最初と最後の頁<br>17-21 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                          |                      |
|------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                          | 4. 巻<br>157巻1号       |
| 2. 論文標題<br>標識法における損害賠償制度 - 使用料相当額の損害を中心に | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>民商法雑誌                          | 6. 最初と最後の頁<br>33-46頁 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-            |

|                                                                   |                     |
|-------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                                                   | 4. 巻<br>7号          |
| 2. 論文標題<br>特許法102条3項の下での損害額の算定 事前のライセンス契約例がある場合の、事後的に見て妥当な実施料額の検討 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産紛争の最前線                                              | 6. 最初と最後の頁<br>46-51 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                    | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                            | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>米国における知財の動き（商標法・不正競争法）      | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『年報知的財産法2021-2022』           | 6. 最初と最後の頁<br>203-207 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>第3条（商標登録の要件）                | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>『商標法コンメンタール（新版）』             | 6. 最初と最後の頁<br>47-67 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>第37条（侵害とみなす行為）              | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標法コンメンタール（新版）』             | 6. 最初と最後の頁<br>641-651 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>パッケージ・デザイン                  | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>『デザイン保護法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>69-88 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                       |                      |
|---------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                       | 4. 巻<br>60号          |
| 2. 論文標題<br>表現規制としての標識法とその憲法的統制(5)     | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>65-114 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-            |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>営業秘密ってどこまで保護されるの？           | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『18歳からはじめる知的財産法』             | 6. 最初と最後の頁<br>44-49 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>ネーミングをパクられてしまったら？           | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『18歳からはじめる知的財産法』             | 6. 最初と最後の頁<br>66-71 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>自分のブランドを守るには？               | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『18歳からはじめる知的財産法』             | 6. 最初と最後の頁<br>72-77 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>大石 玄 = 平澤 卓人                 | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>これって盗作じゃないの？                | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『18歳からはじめる知的財産法』             | 6. 最初と最後の頁<br>92-95 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                       |                       |
|-------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                                       | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>拡大する商標保護と表現の自由の保障 - 米国における商標法と修正1条の議論からの示唆 | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『知財のフロンティア 第1巻』                             | 6. 最初と最後の頁<br>139-163 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                        | 4. 巻<br>17号         |
| 2. 論文標題<br>#ハッシュタグは商標として機能しうるか         | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>IPジャーナル                      | 6. 最初と最後の頁<br>36-38 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                       |                     |
|-------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                                       | 4. 巻<br>722号        |
| 2. 論文標題<br>権利制限規定・法定許諾による著作物の利用と対価の還流：英豪両国の著作権法を手がかりに | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>コピライト                                       | 6. 最初と最後の頁<br>54-67 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                | 国際共著<br>-           |



|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>第13条の2（設定の登録前の金銭的請求権等）      | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標法コンメンタール（新版）』             | 6. 最初と最後の頁<br>357-370 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                            |                       |
|------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Kenneth L. Port, Yoshiyuki Tamura, Mary LaFrance | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>Japan                                           | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>International Trademark Dilution                 | 6. 最初と最後の頁<br>341-362 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                              | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                     | 国際共著<br>該当する          |

|                                          |                       |
|------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                          | 4. 巻<br>43号           |
| 2. 論文標題<br>画像デザインの保護に関する2019年意匠法改正の概要と課題 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                   | 6. 最初と最後の頁<br>178-198 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし            | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                 |                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                 | 4. 巻<br>199号       |
| 2. 論文標題<br>特許法102条1項の逸失利益の推定とその覆滅について判示した知財高裁大合議判決について～美容器事件<br>知財高裁大合議判決（令和2年2月28日言渡）の検討（その1）～ | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                              | 6. 最初と最後の頁<br>1-10 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                                   | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                                                           | 国際共著<br>-          |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>特定性〔フットボール・シンボルマーク事件〕       | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』（第2版）        | 6. 最初と最後の頁<br>68-69 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                                                             |                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                             | 4. 巻<br>207号       |
| 2. 論文標題<br>特許法102条1項の逸失利益の推定とその覆滅について判示した知財高裁大合議判決について～美容器事件知財高裁大合議判決（令和2年2月28日言渡）の検討（その2）～ | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                          | 6. 最初と最後の頁<br>1-35 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                               | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                                                       | 国際共著<br>-          |

|                                                                                                         |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                         | 4. 巻<br>56号           |
| 2. 論文標題<br>存続期間満了後の特許無効不成立審決取消訴訟の訴えの利益・進歩性要件の基礎となる引例適格性・サポート要件における課題の再設定について - ビリミジン誘導体事件知財高裁大合議判決の検討 - | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                                                    | 6. 最初と最後の頁<br>163-237 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                                           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                                                                   | 国際共著<br>-             |

|                                        |                   |
|----------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>92巻11号    |
| 2. 論文標題<br>寛容的利用が違法とされた不幸な経緯に関する一考察    | 5. 発行年<br>2020年   |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>4-6 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>有        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |

|                                                       |                       |
|-------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                       | 4. 巻<br>27号           |
| 2. 論文標題<br>特許法102条2項における利益の意義、推定の覆滅と、同条3項の相当実施料額の算定手法 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                                 | 6. 最初と最後の頁<br>239-242 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                | 国際共著<br>-             |

|                                                                      |                    |
|----------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                      | 4. 巻<br>213号       |
| 2. 論文標題<br>リツイートにシステム上伴うトリミングにより著作者名が表示されなかったことについて氏名表示権侵害を肯定した最高裁判決 | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ 判例コラム                                                  | 6. 最初と最後の頁<br>1-21 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                       | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                               | 国際共著<br>-          |

|                                                                                          |                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                          | 4. 巻<br>57号           |
| 2. 論文標題<br>特許権侵害訴訟の事実審で無効の抗弁を容れて侵害を否定する判決が下された後の上告審の段階で訂正審決が確定した場合の処理 - シートカッター事件最判の検討 - | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                                     | 6. 最初と最後の頁<br>123-153 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                   | 国際共著<br>-             |

|                                                   |                    |
|---------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村善之 = 秋山卓也 = 高部眞規子 = 中山信弘 = 成原慧 = 福井健策 | 4. 巻<br>34号        |
| 2. 論文標題<br>著作権法50年を振り返って                          | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                                 | 6. 最初と最後の頁<br>4-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>-          |

|                                                                                    |                       |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高林龍 = 田村善之 = 前田健 = 酒井將行 = 山口和弘                                           | 4. 巻<br>73巻13号(別冊24号) |
| 2. 論文標題<br>日本弁理士会中央知的財産研究所 第17回公開フォーラム 『イノベーション推進に役立つ特許の保護対象<br>ソフトウェア・AI・ビジネス方法 』 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                                                     | 6. 最初と最後の頁<br>91-217  |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                     | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                              | 国際共著<br>-             |

|                                                                 |                    |
|-----------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                 | 4. 巻<br>90号        |
| 2. 論文標題<br>ポスト2018年改正下における日本の著作権法の中長期的課題 - 続・続・日本の著作権法のリフォーム論 - | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                                      | 6. 最初と最後の頁<br>1-11 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                  | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                          | 国際共著<br>-          |

|                                                                                |                     |
|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                | 4. 巻<br>58号         |
| 2. 論文標題<br>特許法102条2項における利益の意義・推定の覆滅と同条3項の相当実施料額の算定について 二酸化炭素含有粘性組成物事件知財高裁大合議判決 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                           | 6. 最初と最後の頁<br>35-65 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                 | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                          | 国際共著<br>-           |

|                                         |                      |
|-----------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                         | 4. 巻<br>-            |
| 2. 論文標題<br>日本の知的財産権侵害に対する損害賠償額の算定の現状と課題 | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産に関する日中共同研究報告書』           | 6. 最初と最後の頁<br>82-109 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)   | 国際共著<br>-            |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>70号        |
| 2. 論文標題<br>人間の精神活動、人為的取決めと発明           | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>特許研究                         | 6. 最初と最後の頁<br>6-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>政策・産業界の動き                   | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『年報知的財産法2020-2021』           | 6. 最初と最後の頁<br>182-201 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                           |                       |
|-------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                           | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>医薬用途発明の進歩性判断における発明の予測できない顕著な効果 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『令和元年度重要判例解説』                   | 6. 最初と最後の頁<br>256-257 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし            | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難    | 国際共著<br>-             |

|                                            |                     |
|--------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                            | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>無効審判請求の除斥期間経過後の権利行使の許否〔エマックス事件〕 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』 (第2版)           | 6. 最初と最後の頁<br>78-79 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-           |

|                                          |                       |
|------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                          | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>侵害プレミアムを考慮した相当実施料額をどのように算定するか | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産に関する日中共同研究報告書』            | 6. 最初と最後の頁<br>110-126 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|                                          |                     |
|------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                          | 4. 巻<br>699号        |
| 2. 論文標題<br>COVID-19パンデミックと特許 強制か、それとも自発か | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>国際問題                           | 6. 最初と最後の頁<br>28-41 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>特許を使ったイノベーション戦略             | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>80-83 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                              |                    |
|--------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                              | 4. 巻<br>56号        |
| 2. 論文標題<br>知的財産法学における権利論と功利主義の相克(2・完) 知的財産制度の正当化根拠をめぐる論争の一断面 | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                         | 6. 最初と最後の頁<br>1-49 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                               | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                       | 国際共著<br>-          |

|                                               |                      |
|-----------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                               | 4. 巻<br>73巻8号(別冊23号) |
| 2. 論文標題<br>ビッグデータの保護をめぐる法政策上の課題 欧米の議論を手がかりとして | 5. 発行年<br>2020年      |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                | 6. 最初と最後の頁<br>91-116 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                 | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)         | 国際共著<br>-            |

|                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                       | 4. 巻<br>70号         |
| 2. 論文標題<br>営業秘密侵害と損害賠償                | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>特許研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>51-70 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>米国における営業秘密侵害に係る損害賠償制度       | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法の挑戦』                   | 6. 最初と最後の頁<br>326-345 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>営業秘密の使用〔プラスチック木型事件〕         | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』(第2版)        | 6. 最初と最後の頁<br>218-219 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                      |
|----------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>72巻6号        |
| 2. 論文標題<br>米国連邦営業秘密防衛法(DTSA)の研究(2・完)   | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>同志社法学                        | 6. 最初と最後の頁<br>47-124 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-            |

|                                            |                     |
|--------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                            | 4. 巻<br>91号         |
| 2. 論文標題<br>営業秘密侵害に対する損害賠償額の算定 エディオン事件をめぐって | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                 | 6. 最初と最後の頁<br>13-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>794号        |
| 2. 論文標題<br>写真画像のリツイートと氏名表示権侵害          | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>法学セミナー                       | 6. 最初と最後の頁<br>34-39 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                   |
|----------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>-         |
| 2. 論文標題<br>知的財産法は何のためにあるのか             | 5. 発行年<br>2021年   |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>6-7 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |



|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>不正競争防止法とは                   | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>108-109 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>営業秘密                        | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>110-111 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                                    |                    |
|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki                                                          | 4. 巻<br>49 (6)     |
| 2. 論文標題<br>Reflections on International Aspects of the Protection of Trade Secrets | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>Patents & Licensing                                                      | 6. 最初と最後の頁<br>8-17 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                     | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                             | 国際共著<br>-          |

|                                         |                     |
|-----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                         | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>需要者の間に広く認識されている商標〔とっとり岩山海事件〕 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』 (第2版)        | 6. 最初と最後の頁<br>26-27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                       | 4. 巻<br>73巻8号(別冊23号)  |
| 2. 論文標題<br>情報・データの法的保護を巡る諸問題          | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                        | 6. 最初と最後の頁<br>117-130 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>情報・データの越境流通                 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『国際法の現在 変転する現代社会で法の可能性を問い直す』 | 6. 最初と最後の頁<br>411-420 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                        | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>知的財産制度と公共政策の調整に関する法的紛争      | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法の挑戦』                   | 6. 最初と最後の頁<br>3-20 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                          |                     |
|------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                          | 4. 巻<br>90号         |
| 2. 論文標題<br>特許権侵害に基づく損害賠償 特許法102条1項を中心として | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology               | 6. 最初と最後の頁<br>12-24 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし            | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-           |

|                                                                |                       |
|----------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                | 4. 巻<br>26号           |
| 2. 論文標題<br>置換された構成要件に補正があったが、フレキシブル・バーを採用して第5要件を肯定し均等論侵害を認めた事例 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                                          | 6. 最初と最後の頁<br>265-268 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                 | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                         | 国際共著<br>-             |

|                                                                               |                     |
|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                               | 4. 巻<br>73巻4号       |
| 2. 論文標題<br>訂正の再抗弁を主張するために訂正審判の提起は不要であるとした知財高裁判決 - 条件付提起不要説から完全提起不要説への移行は成るか - | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                                                | 6. 最初と最後の頁<br>37-45 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                        | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>打ち消し表示〔トナーカートリッジ事件〕         | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』 (第2版)       | 6. 最初と最後の頁<br>52-53 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                                         |                      |
|-------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                         | 4. 巻<br>56号          |
| 2. 論文標題<br>クレーム制度の補完としての均等論と第5要件の検討 第4要件との関係から考えるコンプリート・バーとフレキシブル・バーの相克 | 5. 発行年<br>2020年      |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                    | 6. 最初と最後の頁<br>51-102 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                          | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                  | 国際共著<br>-            |

|                                              |                     |
|----------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                              | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>均等論第5要件におけるコンプリート・パーとフレキシブル・パーの相克 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法の挑戦』                         | 6. 最初と最後の頁<br>61-82 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>補正で追加された構成要件と均等の第5要件        | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『令和元年度重要判例解説』                | 6. 最初と最後の頁<br>256-257 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                            |                     |
|--------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                             | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>含有成分の説明的表示〔PITAVA (小林化工) 事件第1審〕 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』 (第2版)           | 6. 最初と最後の頁<br>50-51 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                    |                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                                                                     | 4. 巻<br>70巻1号        |
| 2. 論文標題<br>対象物を新着眼の特性で特定したクレームの特許性：発見かそれとも発明か?：機能的に表現された抗体の発明のサポート要件及び進歩性要件を題材として[知財高裁令和元.10.30判決] | 5. 発行年<br>2020年      |
| 3. 雑誌名<br>神戸法学雑誌                                                                                   | 6. 最初と最後の頁<br>63-116 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                     | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                             | 国際共著<br>-            |

|                                                     |                     |
|-----------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                      | 4. 巻<br>92巻8号       |
| 2. 論文標題<br>侵害コンテンツのダウンロード違法化 (小特集 著作権法改正の法的課題とその分析) | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                                      | 6. 最初と最後の頁<br>84-90 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難              | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>73巻8号 (別冊23号) |
| 2. 論文標題<br>データの集積・加工の促進と知的財産法によるデータの保護 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                         | 6. 最初と最後の頁<br>201-216 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>34号         |
| 2. 論文標題<br>侵害主体論 (特集 著作権法50年の歩みと展望)    | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>84-91 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>柔軟な権利制限規定の設計思想と著作権者の利益の意義   | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法の挑戦』                   | 6. 最初と最後の頁<br>224-245 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>特許明細書・出願過程における虚偽の開示の取り扱い    | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『ビジネスローの新しい流れ』               | 6. 最初と最後の頁<br>509-526 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                      |                     |
|------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                       | 4. 巻<br>790号        |
| 2. 論文標題<br>情報法ナビゲーション(第8回)インターネット上の情報流通に関する者の著作権侵害責任 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>法学セミナー                                     | 6. 最初と最後の頁<br>68-74 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                       | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難               | 国際共著<br>-           |

|                                                                                   |                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高林龍 = 田村善之 = 前田健 = 酒井将行 = 山口和弘                                          | 4. 巻<br>73巻13号(別冊24号) |
| 2. 論文標題<br>日本弁理士会中央知的財産研究所 第17回公開フォーラム 『イノベーション推進に役立つ特許の保護対象<br>ソフトウェア・AI・ビジネス方法』 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                                                    | 6. 最初と最後の頁<br>91-217  |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                    | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                             | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>判例に見る知的財産法解釈方法論と政策形成        | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『法解釈の方法論 その諸相と展望』            | 6. 最初と最後の頁<br>207-227 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                               |                     |
|---------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                                               | 4. 巻<br>1547号       |
| 2. 論文標題<br>知的財産法とビジネスの種(NUMBER 33)フランスにおけるクラウド・サービスと私的複製補償金制度 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>ジュリスト                                               | 6. 最初と最後の頁<br>70-71 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                        | 国際共著<br>-           |

|                                          |                       |
|------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                          | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>知的財産権の侵害警告 権利行使の一環説〔ごみ貯蔵機器事件〕 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』(第2版)          | 6. 最初と最後の頁<br>230-231 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>不正競争の準拠法に関する一考察             | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法の挑戦』                   | 6. 最初と最後の頁<br>346-361 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                       | 4. 巻<br>73巻15号(別冊25号) |
| 2. 論文標題<br>悪意の商標出願                    | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                        | 6. 最初と最後の頁<br>17-46   |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>34号         |
| 2. 論文標題<br>著作権法50年の歩みと展望               | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>30-37 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>478号        |
| 2. 論文標題<br>スポーツ選手のパブリシティ権              | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                         | 6. 最初と最後の頁<br>56-59 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>88号         |
| 2. 論文標題<br>音楽教室と著作権                    | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology             | 6. 最初と最後の頁<br>20-38 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>物のパブリシティ権の成否〔ギャロップレーサー事件〕   | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』（第2版）        | 6. 最初と最後の頁<br>238-239 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |



|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>判例の動き (著作権法)                | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『年報知的財産法2020-2021』           | 6. 最初と最後の頁<br>110-125 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>-          |
| 2. 論文標題<br>解題 水野錬太郎著『著作権法要義』           | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>『復刻 著作権法要義』                  | 6. 最初と最後の頁<br>3-30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                        | 4. 巻<br>34号           |
| 2. 論文標題<br>技術的手段実効性確保規定のこれまでとこれから      | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>101-110 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                       |                     |
|-------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                                       | 4. 巻<br>709号        |
| 2. 論文標題<br>欧州におけるデジタル消尽の行方 : Tom Kabinet事件CJEU判決を踏まえて | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>コピライト                                       | 6. 最初と最後の頁<br>40-49 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                | 国際共著<br>-           |

|                                           |                     |
|-------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                           | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>登録商標の付された商品の改変〔脱獄iPhone事件（刑事）〕 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』（第2版）           | 6. 最初と最後の頁<br>72-73 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし             | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難    | 国際共著<br>-           |

|                                         |                     |
|-----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                         | 4. 巻<br>482号        |
| 2. 論文標題<br>リツイートと氏名表示権侵害[最高裁令和2.7.21判決] | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                          | 6. 最初と最後の頁<br>64-70 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし           | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>共同開発の場合の処理〔猫の手事件〕           | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』（第2版）        | 6. 最初と最後の頁<br>202-203 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>令和元年改正後の特許法102条1項2号の意義と解釈   | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法の挑戦 』                  | 6. 最初と最後の頁<br>103-121 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                       |                     |
|-------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                       | 4. 巻<br>794号        |
| 2. 論文標題<br>法学教科書・教材における著作物性と類似性 (特集 ICT教育時代の法学教材と著作権) | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>法学セミナー                                      | 6. 最初と最後の頁<br>19-27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                       | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>放送番組における未公表楽曲の利用            | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『令和元年度重要判例解説』                | 6. 最初と最後の頁<br>262-263 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                       | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>内部分裂の場合の処理〔FUKI事件〕          | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』(第2版)        | 6. 最初と最後の頁<br>172-173 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                       | 4. 巻<br>794号        |
| 2. 論文標題<br>図書館での著作物利用とデジタル教科書のゆくえ      | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>法学セミナー                       | 6. 最初と最後の頁<br>28-33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                         |                     |
|-----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                         | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>登録場面における取引実情の考慮〔保土谷化学工業社標事件〕 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』（第2版）         | 6. 最初と最後の頁<br>42-43 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし           | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

|                                            |                       |
|--------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                            | 4. 巻<br>26号           |
| 2. 論文標題<br>不正競争防止法2条1項3号の保護の始期（「商品」該当性）と終期 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                      | 6. 最初と最後の頁<br>277-280 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし              | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）      | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>479号        |
| 2. 論文標題<br>芸能人と芸名をめぐる法律問題              | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                         | 6. 最初と最後の頁<br>51-53 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>米国における知財の動き（商標法・不正競争法）      | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『年報知的財産法2020-2021』           | 6. 最初と最後の頁<br>217-219 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                              |                       |
|----------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                              | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>不正競争防止法の商品等表示の規制におけるパブリック・ドメインの確保 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法の挑戦』                         | 6. 最初と最後の頁<br>307-325 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-             |

|                                                                          |                     |
|--------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                                                          | 4. 巻<br>119号        |
| 2. 論文標題<br>商標の類否判断において考慮すべき事情～知財高判平31・3・12 平30(行ケ)10121 [ キリンコーン ] を題材に～ | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>商標懇                                                            | 6. 最初と最後の頁<br>10-15 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                           | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                   | 国際共著<br>-           |

|                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                       | 4. 巻<br>57号        |
| 2. 論文標題<br>商標権侵害訴訟における商標の類似性要件の実証的研究  | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>1-80 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-          |

|                                                  |                       |
|--------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                                  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>有用性(2) いかなる効果があるか不明である場合〔クレープミックス液事件〕 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』(第2版)                  | 6. 最初と最後の頁<br>212-213 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難           | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                        | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>著作権の内容                      | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>24-27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                              |                       |
|----------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                              | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>特許法102条2項・3項に基づく損害額 (知財高判令和元・6・7) | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『令和元年度重要判例解説』                      | 6. 最初と最後の頁<br>260-261 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>競争上似ざるを得ない表示の除外〔水切りざる事件〕    | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』 (第2版)       | 6. 最初と最後の頁<br>160-161 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                             |                    |
|---------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                             | 4. 巻<br>794号       |
| 2. 論文標題<br>教科書やウェブ情報のコピーはどこまで許されるのかー学生の立場から | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>法学セミナー                            | 6. 最初と最後の頁<br>8-12 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>標識法とは                       | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>100-101 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>商標法とは                       | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>102-105 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                        | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>不正競争防止法における標識保護             | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>106-107 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                                 |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Christoph Rademacher                                                  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>Cultural Impact on Copyright Exceptions: Parody in Germany and Japan | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>"The Cambridge Handbook of Copyright Limitations and Exceptions"      | 6. 最初と最後の頁<br>343-363 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                          | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                       | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>類似性要件の保護範囲限定機能〔SAKE CUP事件〕  | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『商標・意匠・不正競争判例百選』（第2版）        | 6. 最初と最後の頁<br>144-145 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                         |                       |
|-----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                        | 4. 巻<br>34号           |
| 2. 論文標題<br>著作権と表現の自由（【特集】著作権法50年の歩みと展望） | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                       | 6. 最初と最後の頁<br>111-118 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-             |

|                                                                                    |                       |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                                                                   | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>著作権と基本権に関する3件の欧州司法裁判所大法廷判決 - Funke Medien事件、Pelham事件、Spiegel Online事件 - | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産法の挑戦』                                                               | 6. 最初と最後の頁<br>264-283 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                      | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                             | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                       | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>知的財産法のエンフォースメント             | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『図録知的財産法』                    | 6. 最初と最後の頁<br>14-17 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |



|                                                                  |                    |
|------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                  | 4. 巻<br>72巻9号      |
| 2. 論文標題<br>特許法における創作物アプローチとパブリック・ドメイン・アプローチの相剋 - 権利成立の場面を題材として - | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                                   | 6. 最初と最後の頁<br>5-12 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                           | 国際共著<br>-          |

|                                                  |                       |
|--------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                  | 4. 巻<br>54号           |
| 2. 論文標題<br>特許法の先使用权に関する一考察(2) - 制度趣旨に鑑みた要件論の展開 - | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                             | 6. 最初と最後の頁<br>129-142 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                   | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)           | 国際共著<br>-             |

|                                                                          |                       |
|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                          | 4. 巻<br>72巻12号(別冊22号) |
| 2. 論文標題<br>際物(キワモノ)発明に関する特許権の行使に対する規律のあり方 - 創作物アプローチvs. パブリック・ドメイン・アプローチ | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                                           | 6. 最初と最後の頁<br>1-24    |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                   | 国際共著<br>-             |

|                                                                |                       |
|----------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                | 4. 巻<br>31号           |
| 2. 論文標題<br>特許法102条が前提とする損害概念の検討 - 二酸化炭素含有性組成物事件知財高裁大合議判決を契機として | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                                              | 6. 最初と最後の頁<br>163-171 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                 | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                         | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>均等の要件                       | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選（第5版）』                | 6. 最初と最後の頁<br>18-19 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                                       |                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                                       | 4. 巻<br>177号       |
| 2. 論文標題<br>特許法102条2項（侵害者利益の推定）における利益の意義、推定の覆滅と、同条3項（相当実施料額賠償）の相当実施料額の算定について～二酸化炭素含有粘性組成物事件知財高裁大合議判決（令和元年6月7日判決言渡）の検討～ | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                                                    | 6. 最初と最後の頁<br>1-21 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                                                         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                                                                                 | 国際共著<br>-          |

|                                                                                                                                                                                       |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Yoshiyuki Tamura                                                                                                                                                            | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>Copyrightability of Applied Arts Recognized Once for Baby Cahir in Japan Presumption of the Amount of Damages Caused by Patent Infringement Based on an Infringer's Profit | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Copyright Cases in Major Asian Jurisdictions                                                                                                              | 6. 最初と最後の頁<br>400-414 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                                                                                                                         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                                                                                                | 国際共著<br>-             |

|                                                                         |                       |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之ほか                                                       | 4. 巻<br>72巻12号(別冊22号) |
| 2. 論文標題<br>日本弁理士会中央知的財産研究所 第16回公開フォーラム 用途発明 - その権利成立と権利行使の場面での問題をめぐって - | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                                          | 6. 最初と最後の頁<br>247-320 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                                   | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之 = 岡村 久道                | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>限定提供データ制度の導入の意義と考え方         | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『対談で読み解くサイバーセキュリティと法律』       | 6. 最初と最後の頁<br>250-272 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之 = 奥邨 弘司                | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>知的財産法 解説                    | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『司法試験の問題と解説 2019』            | 6. 最初と最後の頁<br>242-247 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                    |                     |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                    | 4. 巻<br>87号         |
| 2. 論文標題<br>ダウンロード違法化拡大になぜ反対しなければならないのか～インターネット時代の著作権法における寛容的利用の意義～ | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                                         | 6. 最初と最後の頁<br>68-71 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                     | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                             | 国際共著<br>-           |

|                                                    |                      |
|----------------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                    | 4. 巻<br>55号          |
| 2. 論文標題<br>特許法の先使用权に関する一考察(3・完) - 制度趣旨に鑑みた要件論の展開 - | 5. 発行年<br>2020年      |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                               | 6. 最初と最後の頁<br>83-115 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                     | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)              | 国際共著<br>-            |

|                                                                                                                             |                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                                             | 4. 巻<br>189号       |
| 2. 論文標題<br>医薬用途発明の進歩性につき発明の構成から当業者が予測し得ない顕著な効果の有無の吟味を要求して原<br>判決を破棄した最高裁判決について～局所的眼科用処方物事件最高裁判決(令和元年8月27日判決言渡)の検<br>討(その1)～ | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                                                          | 6. 最初と最後の頁<br>1-11 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                               | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                                                                       | 国際共著<br>-          |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                       | 4. 巻<br>72巻12号(別冊22号) |
| 2. 論文標題<br>AIと進歩性 - 若干の問題提起 -         | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                        | 6. 最初と最後の頁<br>179-199 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                         |
|----------------------------------------|-------------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻                    |
| 2. 論文標題<br>政策・産業界の動き                   | 5. 発行年<br>2019年         |
| 3. 雑誌名<br>『年報知的財産法2019-2020』           | 6. 最初と最後の頁<br>150 - 166 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-               |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>プロダクト・バイ・プロセス・クレーム          | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選(第5版)』                | 6. 最初と最後の頁<br>10 - 11 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                                      |                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Ichiro Nakayama                                                            | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>Trademark Infringement Defence Based on Non-Occurrence of Damage in Japan | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Copyright Cases in Major Asian Jurisdictions             | 6. 最初と最後の頁<br>361-370 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                       | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                               | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                 |                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                                                                 | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>旧著作権法下で映画製作会社の名義で公表された映画の著作物に関する存続期間の算定、及び法の規定の誤解から存続期間が満了したと誤信した場合の「過失」の有無 - 暁の脱走事件 | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『続・知的財産法最高裁判例評釈大系』                                                                    | 6. 最初と最後の頁<br>249-270 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                          | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>発明者の認定                      | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選 (第5版)』               | 6. 最初と最後の頁<br>180-181 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                         |                    |
|---------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                         | 4. 巻<br>85号        |
| 2. 論文標題<br>従業員によるデータの持出しと営業秘密領得罪 - 日産自動車事件最高裁決定を契機として - | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                              | 6. 最初と最後の頁<br>3-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                          | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-          |

|                                                                |                     |
|----------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                                | 4. 巻<br>55号         |
| 2. 論文標題<br>知的財産法学における権利論と功利主義の相克(1) - 知的財産制度の正当化根拠をめぐる論争の一断面 - | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                           | 6. 最初と最後の頁<br>31-81 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                 | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                          | 国際共著<br>-           |

|                                                                      |                    |
|----------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                                      | 4. 巻<br>55号        |
| 2. 論文標題<br>アメリカにおける営業秘密の保護(2) - 連邦営業秘密防衛法(DTSA)の運用実態と日本の営業秘密訴訟との比較 - | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                 | 6. 最初と最後の頁<br>1-30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                       | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                | 国際共著<br>-          |

|                                        |                         |
|----------------------------------------|-------------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                        | 4. 巻<br>42号             |
| 2. 論文標題<br>知的財産権の効力の性質論に関する覚書          | 5. 発行年<br>2019年         |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>153 - 161 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-               |

|                                                                        |                       |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki                                              | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>The Role and Calculation of Damages for Patent Infringement | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Reactive Instruments of Social Governance                    | 6. 最初と最後の頁<br>115-131 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>FRAND宣言された特許権に基づく権利行使       | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選（第5版）』                | 6. 最初と最後の頁<br>62-63 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>均等論の第5要件 - マキサカルシトール事件      | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『続・知的財産法最高裁判例評釈大系』           | 6. 最初と最後の頁<br>328-338 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                        | 4. 巻<br>1142号       |
| 2. 論文標題<br>情報・データの越境流通                 | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>70-74 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                                                |                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki                                                                                                      | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>Justifiability of Parallel Import and Trademark Infringement by Imports Produced in Breach of a Licensing Agreement | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Trademark Cases in Major Asian Jurisdictions                                                       | 6. 最初と最後の頁<br>155-164 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                                                                                  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                                         | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                    |                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki                                                                          | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>Internet Intermediary Held Liable for Reproduction through Command by Its User in Japan | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Copyright Cases in Major Asian Jurisdictions                           | 6. 最初と最後の頁<br>26-38 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                     | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                             | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                            |                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki                                                                                  | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>Asian Case Law and Global Experiences: Japan                                                    | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>SEPs, SSOs and FRAND: Asian and Global Perspectives on Fostering Innovation in Interconnectivity | 6. 最初と最後の頁<br>191-211 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                             | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                     | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                        | 4. 巻<br>69号         |
| 2. 論文標題<br>営業秘密の保護の国際的側面に関する覚書         | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>特許研究                         | 6. 最初と最後の頁<br>59 67 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                  |                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                                                  | 4. 巻<br>24号           |
| 2. 論文標題<br>特許無効審判の審決後であってその確定前に提起された新たな無効審判において、先の審判と同一の事実及び同一の証拠に基づいた主張は、訴訟上の信義則に違反して許されないとした事例 | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例 解説Watch                                                                           | 6. 最初と最後の頁<br>243-247 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                   | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                           | 国際共著<br>-             |



|                                                                    |                       |
|--------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                    | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>知財高判平成29・1・20 [ オキサリプラチナムの医薬的に安定な製剤 (エルプラット事件) 上告審 ] 評釈 | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『 続・知的財産法最高裁判例評釈大系 』                                     | 6. 最初と最後の頁<br>448-462 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                     | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                             | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>用途発明の効力                     | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『 特許判例百選 (第5版) 』             | 6. 最初と最後の頁<br>68-69 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                               |                        |
|---------------------------------------------------------------|------------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                               | 4. 巻<br>72巻12号 (別冊22号) |
| 2. 論文標題<br>パブリック・ドメイン保護の観点からの新規性と先使用の再構成 - 用途発明・パラメータ発明を題材に - | 5. 発行年<br>2019年        |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                                | 6. 最初と最後の頁<br>57-74    |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                        | 国際共著<br>-              |

|                                                                |                     |
|----------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                                 | 4. 巻<br>83号         |
| 2. 論文標題<br>審決取消訴訟の訴えの利益と進歩性判断における引用発明の認定 - ビリミジン誘導体知財高裁大合議判決 - | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                                     | 6. 最初と最後の頁<br>16-26 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                 | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                         | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                                                                     |                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Takeshi Maeda                                                                                                                             | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>Requirements for Criminal Accessoryship Liability for Copyright Infringement through Release of a File-sharing Software Program in Japan | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Copyright Cases in Major Asian Jurisdictions                                                                            | 6. 最初と最後の頁<br>212-226 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                                                      | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                                                              | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>68号         |
| 2. 論文標題<br>先使用権の成立要件 - 制度趣旨からの考察 -     | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>特許研究                         | 6. 最初と最後の頁<br>19-34 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|                                                     |                    |
|-----------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                      | 4. 巻<br>1154号      |
| 2. 論文標題<br>特許法102条2項・3項による損害額の算定方法 - 炭酸パック事件大合議判決 - | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>NBL                                       | 6. 最初と最後の頁<br>4-13 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難              | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>進歩性(3) - 引用発明の適格性           | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選 (第5版)』               | 6. 最初と最後の頁<br>136-137 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                        | 4. 巻<br>72巻12号(別冊22号) |
| 2. 論文標題<br>用途発明の意義 - 用途特許の効力と新規性の判断 - | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                        | 6. 最初と最後の頁<br>25-46   |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>特許請求の範囲の減縮補正と実施契約における錯誤     | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選(第5版)』                | 6. 最初と最後の頁<br>204-205 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                              |                     |
|----------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                              | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>訂正審決の確定と無効審決の取消し - クリーニングファブリック事件 | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『続・知的財産法最高裁判例評釈大系』                 | 6. 最初と最後の頁<br>49-60 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし               | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                        |                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Yasuto Komada                                                                                | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>International Jurisdiction of Tort, Property Location, and Annexation over Copyright Claims | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Copyright Cases in Major Asian Jurisdictions                               | 6. 最初と最後の頁<br>451-465 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                 | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                                                |                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Yasuto Komada                                                                                                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>Exclusive Jurisdiction Over Registration Claim and Applicable Law to Transfers of Foreign Trademark Rights in Japan | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Trademark Cases in Major Asian Jurisdictions                                                       | 6. 最初と最後の頁<br>409-418 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                                 | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                                         | 国際共著<br>-             |

|                                                      |                     |
|------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                                      | 4. 巻<br>91巻8号       |
| 2. 論文標題<br>人工知能と機械学習をめぐる著作権法上の課題 - 日本とヨーロッパにおける近時の動向 | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                                       | 6. 最初と最後の頁<br>33-40 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                       | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難               | 国際共著<br>-           |

|                                        |                 |
|----------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>37号     |
| 2. 論文標題<br>ブロッキングとリーチサイトをめぐる議論状況       | 5. 発行年<br>2019年 |
| 3. 雑誌名<br>法とコンピュータ                     | 6. 最初と最後の頁<br>3 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-       |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>特許権者不実施の場合の特許法102条2項の適用     | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選 (第5版)』               | 6. 最初と最後の頁<br>80-81 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                  |
|----------------------------------------|------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>28号      |
| 2. 論文標題<br>知的財産保護の多層化と自由の確保            | 5. 発行年<br>2019年  |
| 3. 雑誌名<br>日本国際経済法学会年報                  | 6. 最初と最後の頁<br>53 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無       |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-        |

|                                                                           |                       |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Tatsuhiko Ueno                                                  | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>Flexible Interpretation of the Provision of Quotation in Japan | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Copyright Cases in Major Asian Jurisdictions  | 6. 最初と最後の頁<br>296-305 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                            | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                    | 国際共著<br>-             |

|                                                                       |                   |
|-----------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>Tatsuhiko Ueno                                              | 4. 巻              |
| 2. 論文標題<br>Mediation and Arbitration in Copyright Disputes            | 5. 発行年<br>2019年   |
| 3. 雑誌名<br>Copyright in Action: International Perspectives on Remedies | 6. 最初と最後の頁<br>398 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                        | 査読の有無<br>有        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                | 国際共著<br>-         |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                        | 4. 巻<br>702号       |
| 2. 論文標題<br>講演録 技術革新と著作権法制のメビウスの輪( )    | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>コピライト                        | 6. 最初と最後の頁<br>2-26 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>ソフトウェア関連発明                  | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選（第5版）』                | 6. 最初と最後の頁<br>110-111 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                   |                     |
|-------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>奥邨 弘司                                                   | 4. 巻<br>85号         |
| 2. 論文標題<br>判例研究 V系初代たぬきの掲示板事件 受信可能化を公衆送信に直結させた事例[東京地裁平成31.2.28判決] | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                                        | 6. 最初と最後の頁<br>72-80 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                     | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                            | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>特許法102条1項と3項の適用関係           | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選（第5版）』                | 6. 最初と最後の頁<br>86-87 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                                  |                    |
|------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                                  | 4. 巻               |
| 2. 論文標題<br>専用実施権設定後の特許権にもとづく差止請求権の行使—生体高分子・リガンド分子の安定複合体構造の探索方法事件 | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>『続・知的財産法最高裁判例評釈大系』                                     | 6. 最初と最後の頁<br>3-17 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                    | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                           | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                       | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>独占的通常実施権者による差止請求            | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選（第5版）』                | 6. 最初と最後の頁<br>206-207 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                 |                     |
|-----------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                                                | 4. 巻<br>54号         |
| 2. 論文標題<br>フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論（8） - 日本著作権法の制限規定に対する示唆 - | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                            | 6. 最初と最後の頁<br>41-58 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                   | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                           | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>特許法102条3項における実施料相当額         | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選（第5版）』                | 6. 最初と最後の頁<br>84-85 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                      |                     |
|------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                                      | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>商標法4条1項8号にいう人の氏名等の「著名な略称」の判断基準 - 国際自由学園事件 | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『続・知的財産法最高裁判例評釈大系』                         | 6. 最初と最後の頁<br>38-48 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                        | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難               | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                                                                 |                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Masaharu Miyawaki                                                                                                                     | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>Unregistered Well-Known Trademark Owner Accused of Infringement in Japan: Abuse of Right Defence after Five-Year Invalidation Period | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Annotated Leading Trademark Cases in Major Asian Jurisdictions                                                                        | 6. 最初と最後の頁<br>302-312 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                                                  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                                                          | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>42号         |
| 2. 論文標題<br>商標的使用論の再構成                  | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>66-94 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>86号         |
| 2. 論文標題<br>特許法102条2項・3項に基づく損害額の算定      | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology             | 6. 最初と最後の頁<br>82-93 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                        | 4. 巻<br>42号           |
| 2. 論文標題<br>表現の自由の観点からの商標法の権利制限         | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>118-138 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |



|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                       | 4. 巻<br>54号           |
| 2. 論文標題<br>表現規制としての標識法とその憲法的統制(4)     | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>143-180 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>損害不発生抗弁                     | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『特許判例百選(第5版)』                | 6. 最初と最後の頁<br>88-89 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                                   |                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Christoph Rademacher                                                                                    | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>The Theory and Practice of Patent Damages in Japan and the US - Explaining the Differences that Remain | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Patent Law and Theory: A Handbook of Contemporary Research (2nd edition)                                | 6. 最初と最後の頁<br>272-295 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                    | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                            | 国際共著<br>-             |

|                                                           |                      |
|-----------------------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>Christoph Rademacher                            | 4. 巻<br>Vol.49, No.5 |
| 2. 論文標題<br>The Parody Exception in Japanese Copyright Law | 5. 発行年<br>2019年      |
| 3. 雑誌名<br>Patents & Licensing                             | 6. 最初と最後の頁<br>9-16   |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                    | 国際共著<br>-            |

|                                                     |                       |
|-----------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                     | 4. 巻<br>50号           |
| 2. 論文標題<br>プロ・イノベーションのための特許制度のmuddling through(5・完) | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                | 6. 最初と最後の頁<br>175-254 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)               | 国際共著<br>-             |

|                                                            |                     |
|------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                            | 4. 巻<br>2018-2019   |
| 2. 論文標題<br>限定提供データの不正利用行為に対する規制の新設について - 平成30年不正競争防止法改正の検討 | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>年報知的財産法                                          | 6. 最初と最後の頁<br>28-41 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                             | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                     | 国際共著<br>-           |

|                                                                                                     |                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                     | 4. 巻<br>148号       |
| 2. 論文標題<br>特許権が存続期間満了により消滅した後の無効不成立審決取消訴訟の訴えの利益について - プリミジン誘導体事件知財高裁大合議判決(平成30年4月13日判決言渡)の検討(その1) - | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                                  | 6. 最初と最後の頁<br>1-13 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                      | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                                               | 国際共著<br>-          |

|                                                                                    |                    |
|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                    | 4. 巻<br>153号       |
| 2. 論文標題<br>進歩性要件の判断の基礎となる引例適格性について - プリミジン誘導体事件知財高裁大合議判決(平成30年4月13日判決言渡)の検討(その2) - | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                 | 6. 最初と最後の頁<br>1-25 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                     | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                              | 国際共著<br>-          |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻<br>51号        |
| 2. 論文標題<br>知的財産法学の課題 - 旅の途中 -          | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                   | 6. 最初と最後の頁<br>1-46 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-          |

|                                                                                            |                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                            | 4. 巻<br>52号           |
| 2. 論文標題<br>均等論の第5要件 (意識的除外・審査経過禁反言) における出願時同効材への均等論適用とDedication法理の採否 - マキサカルシトール事件最判の検討 - | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                                       | 6. 最初と最後の頁<br>233-248 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                             | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                     | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                   |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                   | 4. 巻<br>52号           |
| 2. 論文標題<br>不正競争防止法2条1項1号と商標法4条1項10号の「需要者の間に広く認識されている」の意味と除斥期間経過後の無効の抗弁と商標権の濫用の成否 - エマックス事件最判の検討 - | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                                              | 6. 最初と最後の頁<br>249-277 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                    | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                            | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之 = 奥邨 弘司                | 4. 巻<br>2018          |
| 2. 論文標題<br>知的財産法 論文式試験の解説              | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>『司法試験の問題と解説』                 | 6. 最初と最後の頁<br>251-256 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                        |                     |
|--------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                        | 4. 巻<br>462号        |
| 2. 論文標題<br>ビッグ・データの不正利用行為規制の新設について - 平成30年不正競争防止法改正の解説 | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                                         | 6. 最初と最後の頁<br>65-72 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                 | 国際共著<br>-           |

|                                                  |                       |
|--------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                  | 4. 巻<br>53号           |
| 2. 論文標題<br>特許法の先使用权に関する一考察(1) - 制度趣旨に鑑みた要件論の展開 - | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                             | 6. 最初と最後の頁<br>137-158 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                   | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)            | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                                   |                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                                                                                                   | 4. 巻<br>158号      |
| 2. 論文標題<br>明細書に記載されている解決すべき課題が公知技術と対比すると不適切である場合のサポート要件の判断の仕方について - ピリミジン誘導体事件知財高裁大合議判決(平成30年4月13日判決言渡)の検討(その3) - | 5. 発行年<br>2019年   |
| 3. 雑誌名<br>WLJ判例コラム                                                                                                | 6. 最初と最後の頁<br>1-7 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                    | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                                                                             | 国際共著<br>-         |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>創作的表現の共通性〔江差追分事件：上告審〕       | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選(第6版)』               | 6. 最初と最後の頁<br>90-91 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之 = 岡村 久道                | 4. 巻<br>1140号      |
| 2. 論文標題<br>限定提供データ制度の導入の意義と考え方         | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>NBL                          | 6. 最初と最後の頁<br>4-18 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                          |                    |
|------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                          | 4. 巻<br>18-J-020   |
| 2. 論文標題<br>標準必須特許を巡る法的問題 - 国際動向と日本の対応の考察 | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>経済産業研究所ディスカッションペーパー            | 6. 最初と最後の頁<br>1-32 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-          |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                        | 4. 巻<br>41号         |
| 2. 論文標題<br>特許権侵害に基づく損害賠償 - 総論          | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>51-69 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                        | 4. 巻<br>26号         |
| 2. 論文標題<br>著作隣接権に関する国際的ルール形成           | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>28-34 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                           |                     |
|-------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                           | 4. 巻<br>4号          |
| 2. 論文標題<br>標準必須特許の権利行使を巡る国際動向とわが国の対応      | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>別冊Law & Technology (知的財産紛争の最前線) | 6. 最初と最後の頁<br>58-69 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし            | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難    | 国際共著<br>-           |

|                                                          |                       |
|----------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                                          | 4. 巻<br>71巻11号        |
| 2. 論文標題<br>機能的クレーム・ソフトウェア発明クレームの解釈と記載要件 - 米国の動向と日本への示唆 - | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント (別冊パテント20号)                               | 6. 最初と最後の頁<br>171 184 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                   | 国際共著<br>-             |

|                                        |                 |
|----------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 將文                        | 4. 巻<br>1131号   |
| 2. 論文標題<br>アップル社とサムスン社間の知財紛争の和解終結を巡って  | 5. 発行年<br>2018年 |
| 3. 雑誌名<br>NBL                          | 6. 最初と最後の頁<br>1 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-       |

|                                                               |                    |
|---------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki, Jorge L. Contreras, et al.         | 4. 巻<br>No. 286    |
| 2. 論文標題<br>The Effect of FRAND Commitments on Patent Remedies | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>University of Utah College of Law Research Paper    | 6. 最初と最後の頁<br>1-94 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                        | 国際共著<br>該当する       |

|                                                                                  |                    |
|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki, Christopher B. Seaman, et al.                         | 4. 巻               |
| 2. 論文標題<br>Lost Profits and Disgorgement                                         | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>Patent Remedies and Complex Products: Toward a Global Consensus, Ch. 2 | 6. 最初と最後の頁<br>1-94 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                   | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                           | 国際共著<br>該当する       |

|                                                                                  |                     |
|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki, Thomas F. Cotter, et al.                              | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>Reasonable Royalties                                                  | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>Patent Remedies and Complex Products: Toward a Global Consensus, Ch. 1 | 6. 最初と最後の頁<br>1-102 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                   | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                           | 国際共著<br>該当する        |

|                                                                                                               |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Masabumi Suzuki                                                                                     | 4. 巻<br>Vol. 48, No.2 |
| 2. 論文標題<br>Case Review: Supreme Court Ruled on the Re-defense of Correction Against the Defense of Invalidity | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>Patents & Licensing (Issue No. 276)                                                                 | 6. 最初と最後の頁<br>8-12    |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                        | 国際共著<br>-             |

|                                            |                       |
|--------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                            | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>侵害主体(2) - 番組関連サービス〔まねきTV事件：上告審〕 | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選(第6版)』                   | 6. 最初と最後の頁<br>168-169 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-             |

|                                                      |                     |
|------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                                      | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>豪州のブレイン・パッケージ制度のWTO協定整合性 - WTOパネル報告書の分析 - | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『国際知財制度研究会報告書』                             | 6. 最初と最後の頁<br>15-38 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                       | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)               | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>鈴木 将文                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>標準必須特許権の行使を巡る国際動向と法的分析      | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『知的財産に関する日中共同研究報告書』          | 6. 最初と最後の頁<br>120 157 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                                                     |                    |
|---------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                                                     | 4. 巻<br>53号        |
| 2. 論文標題<br>アメリカにおける営業秘密の保護(1) - 連邦営業秘密防衛法 (DTSA)の運用実態と日本の営業秘密訴訟との比較 | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                | 6. 最初と最後の頁<br>1-44 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                      | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                              | 国際共著<br>-          |

|                                                                                        |                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>James Pooley = Mindy M. Morton = 山根崇邦 (山根 崇邦訳)                               | 4. 巻<br>53号         |
| 2. 論文標題<br>連邦営業秘密防衛法 (DTSA)をめぐると実務上の諸問題 - Waymo v. Uber 事件の教訓および DTSA が実務にもたらす影響を中心として | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                                                   | 6. 最初と最後の頁<br>45-74 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                 | 国際共著<br>該当する        |



|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>山根 崇邦                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>依拠の立証〔マンション読本事件〕            | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選（第6版）』               | 6. 最初と最後の頁<br>88-89 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                       | 4. 巻<br>52号        |
| 2. 論文標題<br>知的財産高等裁判所の大合議制度の評価と課題      | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>1-39 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-          |

|                                        |                        |
|----------------------------------------|------------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻<br>2018-2019      |
| 2. 論文標題<br>政策・産業界の動き                   | 5. 発行年<br>2018年        |
| 3. 雑誌名<br>年報知的財産法                      | 6. 最初と最後の頁<br>142-159頁 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-              |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>中山 一郎                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>表現の創作者                      | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選（第6版）』               | 6. 最初と最後の頁<br>34-35 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                                                         |                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                                         | 4. 巻<br>22号           |
| 2. 論文標題<br>特許法127条の通常実施権者は利害関係のある者に限られないから、条文所定の承諾がなければ訂正請求が認められないため、訂正の再抗弁は主張できないとした事例 | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>新・判例解説Watch                                                                   | 6. 最初と最後の頁<br>251-254 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                          | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                                  | 国際共著<br>-             |

|                                         |                     |
|-----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                         | 4. 巻<br>80号         |
| 2. 論文標題<br>特許法127条に規定する通常実施権者の承諾と訂正の再抗弁 | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology              | 6. 最初と最後の頁<br>61-68 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

|                                                  |                    |
|--------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                  | 4. 巻<br>71巻3号      |
| 2. 論文標題<br>食品用途発明に関する改訂審査基準の妥当性 - ラベル論から考える新規性 - | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                   | 6. 最初と最後の頁<br>4-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                   | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)           | 国際共著<br>-          |

|                                                                                                                      |                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                                                                                      | 4. 巻<br>154巻3号        |
| 2. 論文標題<br>特許権者が、事実審の口頭弁論終結時までに訂正の再抗弁を主張しなかったにもかかわらず、その後に特許法104条の4第3号所定の特許請求の範囲の訂正をすべき旨の審決等が確定したことを理由に事実審の判断を争うことの許否 | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>民商法雑誌                                                                                                      | 6. 最初と最後の頁<br>486-509 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                       | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                               | 国際共著<br>-             |

|                                                            |                     |
|------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                                            | 4. 巻<br>2018-2019   |
| 2. 論文標題<br>ビジネス方法特許の侵害差止請求が認容された事例 - 機能的クレイムと発明該当性の観点からの評釈 | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>年報知的財産法                                          | 6. 最初と最後の頁<br>42-53 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                             | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                     | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>吉田 広志                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>公開美術著作物の利用                  | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選 (第6版)』              | 6. 最初と最後の頁<br>154-155 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>44号           |
| 2. 論文標題<br>著作権法の設計思想                   | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>著作権研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>118-139 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                          |                       |
|----------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                           | 4. 巻<br>71巻11号        |
| 2. 論文標題<br>「広すぎる」特許規律の法的構成 - クレーム解釈・記載要件の役割分担と特殊法理の必要性 - | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>パテント                                           | 6. 最初と最後の頁<br>137-156 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                   | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>718号          |
| 2. 論文標題<br>最新判例批評（最二判平成29・7・10）        | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>判例評論                         | 6. 最初と最後の頁<br>161-167 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻<br>82号         |
| 2. 論文標題<br>進歩性判断における「効果」の意義            | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology             | 6. 最初と最後の頁<br>33-44 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                               |                       |
|---------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                                | 4. 巻<br>1527号         |
| 2. 論文標題<br>侵害品の薬価収載と損害賠償額の算定（マキサカルシトール損害賠償事件 - 東京地判平成29・7・27） | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>ジュリスト                                               | 6. 最初と最後の頁<br>128-131 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                 | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                        | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                         | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>同一性保持権（1）〔ときめきメモリアル事件：上告審〕  | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選（第6版）』               | 6. 最初と最後の頁<br>68-69 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                                |                     |
|----------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>前田 健                                                 | 4. 巻<br>83号         |
| 2. 論文標題<br>審決取消訴訟の訴えの利益と進歩性判断における引用発明の認定 - プリミジン誘導体知財高裁大合議判決 - | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                                     | 6. 最初と最後の頁<br>16-26 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                 | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                         | 国際共著<br>-           |

|                                          |                    |
|------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>橘 雄介                           | 4. 巻<br>23号        |
| 2. 論文標題<br>医療機器産業から見た医療行為の特許適格性と特許権の権利範囲 | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>医療機器産業研究所リサーチペーパー              | 6. 最初と最後の頁<br>1-57 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-          |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>橘 雄介                         | 4. 巻<br>51号           |
| 2. 論文標題<br>特許権の間接侵害の理論 (1)             | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                   | 6. 最初と最後の頁<br>113-154 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>橘 雄介                         | 4. 巻<br>52号           |
| 2. 論文標題<br>特許権の間接侵害の理論 (2)             | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                   | 6. 最初と最後の頁<br>151-183 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>橋 雄介                        | 4. 巻<br>53号           |
| 2. 論文標題<br>特許権の間接侵害の理論(3)             | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>159-210 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                       | 4. 巻<br>50号        |
| 2. 論文標題<br>越境する特許製品とわが国の特許権に基づく損害賠償   | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>1-18 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-          |

|                                                                 |                       |
|-----------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                                                 | 4. 巻<br>41号           |
| 2. 論文標題<br>特許権の譲渡人等は当該特許の有効性を保証するか - 特許に係る契約と担保責任法(契約不適合責任法)の接合 | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                                          | 6. 最初と最後の頁<br>242-261 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                          | 国際共著<br>-             |

|                                                          |                    |
|----------------------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                                          | 4. 巻<br>66号        |
| 2. 論文標題<br>理由のない特許権侵害警告と不正競争防止法 - 権利行使の“真正さ”を論じる必要はあるか - | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>特許研究                                           | 6. 最初と最後の頁<br>5-21 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                    | 国際共著<br>-          |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>駒田 泰土                        | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>本質的特徴の直接感得可能性〔釣りゲータウン事件〕    | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選（第6版）』               | 6. 最初と最後の頁<br>92-93 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                              |                    |
|----------------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                              | 4. 巻<br>686号       |
| 2. 論文標題<br>著作権法に関する最高裁判決の射程 - 最高裁判決のミスリード? - | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>コピライト                              | 6. 最初と最後の頁<br>2-35 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-          |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>44号         |
| 2. 論文標題<br>インターネット放送をめぐる著作権法上の課題       | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>著作権研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>43-61 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>26号         |
| 2. 論文標題<br>実演と隣接権制度                    | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>12-19 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                    |                       |
|----------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘(謝 晴川訳)                             | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>氏名・肖像等に関する財産権 - 「パブリシティ権」をめぐる諸課題 - (邦題) | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>『中国知的産権法』                                | 6. 最初と最後の頁<br>421-436 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                     | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難             | 国際共著<br>-             |

|                                        |                    |
|----------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>2018-2019  |
| 2. 論文標題<br>平成30年著作権法改正について             | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>年報知的財産法                      | 6. 最初と最後の頁<br>1-27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻<br>28号         |
| 2. 論文標題<br>知的財産法と労働法                   | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>36-42 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                        |                   |
|----------------------------------------|-------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                        | 4. 巻              |
| 2. 論文標題<br>表現の選択の幅〔ライブドア裁判傍聴記事件〕       | 5. 発行年<br>2019年   |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選(第6版)』               | 6. 最初と最後の頁<br>8-9 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |



|                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘                       | 4. 巻<br>72巻4号       |
| 2. 論文標題<br>著名商標のパロディ                  | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>パテント(別冊パテント21号)             | 6. 最初と最後の頁<br>67-82 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|                                                |                       |
|------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>金子 敏哉                                | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>商標法における需要者・取引者                      | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>『人間の尊厳と法の役割 - 民法・消費者法を超えて 廣瀬和先生古稀記念』 | 6. 最初と最後の頁<br>575-594 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         | 国際共著<br>-             |

|                                                                 |                     |
|-----------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                                                | 4. 巻<br>50号         |
| 2. 論文標題<br>フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(6) - 日本著作権法の制限規定に対する示唆 - | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                            | 6. 最初と最後の頁<br>35-59 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                           | 国際共著<br>-           |

|                                                                 |                     |
|-----------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                                                | 4. 巻<br>51号         |
| 2. 論文標題<br>フェア・ユースにおける市場の失敗理論と変容的利用の理論(7) - 日本著作権法の制限規定に対する示唆 - | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                                            | 6. 最初と最後の頁<br>47-63 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                           | 国際共著<br>-           |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>村井 麻衣子                       | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>著作者の立証〔ノンタン事件〕              | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選（第6版）』               | 6. 最初と最後の頁<br>36-37 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                                |                     |
|------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                               | 4. 巻<br>50号         |
| 2. 論文標題<br>デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究（6） | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                           | 6. 最初と最後の頁<br>19-33 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                  | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）          | 国際共著<br>-           |

|                                                  |                      |
|--------------------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                                 | 4. 巻<br>53号          |
| 2. 論文標題<br>デジタル時代における著作権と表現の自由の衝突に関する制度論的研究（7・完） | 5. 発行年<br>2019年      |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                             | 6. 最初と最後の頁<br>75-107 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                    | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）            | 国際共著<br>-            |

|                                                |                       |
|------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                               | 4. 巻<br>53号           |
| 2. 論文標題<br>改変への包括的な黙示の同意と同一性保持権 - 食品包装デザイン事件 - | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                           | 6. 最初と最後の頁<br>277-337 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）          | 国際共著<br>-             |

|                                            |                     |
|--------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>比良 友佳理                           | 4. 巻                |
| 2. 論文標題<br>アイデアと表現の区別 - 散在するアイデア〔武蔵事件：控訴審〕 | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選（第6版）』                   | 6. 最初と最後の頁<br>94-95 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし              | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-           |

|                                                               |                     |
|---------------------------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                                               | 4. 巻<br>76号         |
| 2. 論文標題<br>リサイクルトナーカートリッジの販売等行為と不正競争防止法2条1項14号（品質等誤認惹起行為）・商標法 | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                                    | 6. 最初と最後の頁<br>35-44 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                 | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                        | 国際共著<br>-           |

|                                               |                       |
|-----------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                               | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>国際消尽(1)                            | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>『特許権侵害紛争の実務 - 裁判例を踏まえた解決手段とその展望 - 』 | 6. 最初と最後の頁<br>674-682 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                 | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難        | 国際共著<br>-             |

|                                        |                      |
|----------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>41号          |
| 2. 論文標題<br>米国法における特許権侵害に基づく損害賠償        | 5. 発行年<br>2018年      |
| 3. 雑誌名<br>日本工業所有権法学会年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>95-112 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-            |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻<br>2018-2019     |
| 2. 論文標題<br>米国における知財の動き（商標法・不正競争法）      | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>年報知的財産法                      | 6. 最初と最後の頁<br>178-180 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                            |                     |
|--------------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                            | 4. 巻<br>82号         |
| 2. 論文標題<br>商品形態が商品等表示に該当するための要件と、それに関連する証拠 | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>Law & Technology                 | 6. 最初と最後の頁<br>24-32 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし              | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>宮脇 正晴                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>損害額の算定(1)〔東京リーガルマインド事件〕     | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選（第6版）』               | 6. 最初と最後の頁<br>186-187 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                       |                      |
|---------------------------------------|----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                       | 4. 巻<br>50号          |
| 2. 論文標題<br>表現規制としての標識法とその憲法的統制(1)     | 5. 発行年<br>2018年      |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>61-122 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-            |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                       | 4. 巻<br>51号           |
| 2. 論文標題<br>表現規制としての標識法とその憲法的統制(2)     | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>197-271 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                       | 4. 巻<br>52号           |
| 2. 論文標題<br>現規制としての標識法とその憲法的統制(3)      | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>知的財産法政策学研究                  | 6. 最初と最後の頁<br>185-231 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平澤 卓人                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>口述権における「公衆」の意義              | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選(第6版)』               | 6. 最初と最後の頁<br>122-123 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                                                                                                                                                                                                     |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                                                                                                                                                                                                     | 4. 巻<br>27号           |
| 2. 論文標題<br>文献紹介 Christian Riffel, The Protection Against Unfair Competition in the WTO Trips Agreement: The Scope and Prospects of Article 10 Bis of the Paris Convention for the Protection of Industrial Property | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>日本国際経済法学会年報                                                                                                                                                                                               | 6. 最初と最後の頁<br>244-248 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                                                                                                                                                                      | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                                                                                                                                                              | 国際共著<br>-             |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小嶋 崇弘                        | 4. 巻                  |
| 2. 論文標題<br>著作権法による保護を受けない情報と不法行為法      | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>『著作権判例百選（第6版）』               | 6. 最初と最後の頁<br>210-211 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

〔学会発表〕 計128件（うち招待講演 85件 / うち国際学会 72件）

|                             |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之            |
| 2. 発表標題<br>消尽               |
| 3. 学会等名<br>日本工業所有権法学会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年             |

|                                                    |
|----------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                   |
| 2. 発表標題<br>（パネリストとして参加）                            |
| 3. 学会等名<br>International IP Conference（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2022年                                    |

|                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                                                                       |
| 2. 発表標題<br>Patentability and PHOSITA in the AI Era                                     |
| 3. 学会等名<br>WIPO Conversation on IP and Frontier Technologies Sixth Session（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2022年                                                                        |

|                             |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎            |
| 2. 発表標題<br>間接侵害             |
| 3. 学会等名<br>日本工業所有権法学会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年             |

|                                                   |
|---------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                                  |
| 2. 発表標題<br>営業秘密侵害と差止め・損害賠償 - 裁判例の整理と実務上問題となる論点の検討 |
| 3. 学会等名<br>日本知的財産協会有識者連携プロジェクト講演会（招待講演）           |
| 4. 発表年<br>2022年                                   |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文               |
| 2. 発表標題<br>「趣旨説明」「複数主体が関与する侵害」 |
| 3. 学会等名<br>日本工業所有権法学会（招待講演）    |
| 4. 発表年<br>2022年                |

|                                        |
|----------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>橋 雄介                        |
| 2. 発表標題<br>米国における特許権の間接侵害制度の展開と日本法への示唆 |
| 3. 学会等名<br>日本工業所有権法学会（招待講演）            |
| 4. 発表年<br>2022年                        |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>橘 雄介                      |
| 2. 発表標題<br>漫画村広告事件                   |
| 3. 学会等名<br>情報ネットワーク法学会第22回研究大会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年                      |

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>橘 雄介                                      |
| 2. 発表標題<br>サーキュラーエコノミーと特許権の外延 - リコー・トナーカートリッジ 事件を中心に |
| 3. 学会等名<br>日本知財学会第20回年次学術研究発表会（招待講演）                 |
| 4. 発表年<br>2022年                                      |

|                         |
|-------------------------|
| 1. 発表者名<br>比良 友佳理       |
| 2. 発表標題<br>著作権と表現の自由    |
| 3. 学会等名<br>著作権法学会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2022年         |

|                           |
|---------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴          |
| 2. 発表標題<br>住宅地図の著作物性と保護範囲 |
| 3. 学会等名<br>著作権法学会（招待講演）   |
| 4. 発表年<br>2022年           |



|                           |
|---------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴          |
| 2. 発表標題<br>神経科学と商標        |
| 3. 学会等名<br>神経法学研究会 (招待講演) |
| 4. 発表年<br>2023年           |

|                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                                                                                                                                    |
| 2. 発表標題<br>Big Data Protection in Japan: “Conduct-based” Approach                                                                                                   |
| 3. 学会等名<br>International Conference on “Big Data, Artificial Intelligence and Intellectual Property” of China University of Political Science and Law (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2021年                                                                                                                                                     |

|                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                                                                                                  |
| 2. 発表標題<br>Patentability and PHOSITA in the AI Era (with a focus on inventive step)                               |
| 3. 学会等名<br>13th IP Conference, “Innovation, Intangible Assets During and After the Global Pandemic” (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2021年                                                                                                   |

|                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Branislav Hazucha                                                                                                                                        |
| 2. 発表標題<br>Artificial Intelligence and Authorship: Between Copyright and Public Domain                                                                              |
| 3. 学会等名<br>International Conference on “Big Data, Artificial Intelligence and Intellectual Property” of China University of Political Science and Law (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2021年                                                                                                                                                     |

|                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Branislav Hazucha                                                  |
| 2. 発表標題<br>Artificial Intelligence and Its Impact on Creativity and Copyright |
| 3. 学会等名<br>3. Virtual Juridical Day in Olomouc (招待講演) (国際学会)                  |
| 4. 発表年<br>2021年                                                               |

|                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                                                                                                    |
| 2. 発表標題<br>Promotion of Data Economy and IP: Recent Developments in Japan                                                                                           |
| 3. 学会等名<br>International Conference on “Big Data, Artificial Intelligence and Intellectual Property” of China University of Political Science and Law (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2021年                                                                                                                                                     |

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>孫 友容                                                   |
| 2. 発表標題<br>SNSシェア行為は日本著作権法上の著作権侵害行為に該当するか? 「リツイート」事件日本最高裁判所判決を中心に |
| 3. 学会等名<br>北京市文化娯楽法学会日中文化と法律交流センター交流会 (招待講演) (国際学会)               |
| 4. 発表年<br>2021年                                                   |

|                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴                                                                                          |
| 2. 発表標題<br>Recent Amendment to the Japanese Copyright Act and Its Impact on the Digital Game Preservation |
| 3. 学会等名<br>Round Table 1 “The Preservation of Video Games”, Replaying Japan 2021 (招待講演) (国際学会)            |
| 4. 発表年<br>2021年                                                                                           |

|                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴                                                                        |
| 2. 発表標題<br>Intellectual Property Law Issues Relating to Using Characters in Theme Parks |
| 3. 学会等名<br>Digital Entertainment Conference 2022 (招待講演) (国際学会)                          |
| 4. 発表年<br>2022年                                                                         |

|                                                               |
|---------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                              |
| 2. 発表標題<br>日本の知的財産権侵害に対する損害賠償額の算定の現況と課題                       |
| 3. 学会等名<br>令和2年度 知的財産保護包括協力推進事業 日中共同研究 第一回研究者会議 (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2020年                                               |

|                                                              |
|--------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                             |
| 2. 発表標題<br>日本の知的財産権侵害に対する損害賠償額の算定の現況と課題                      |
| 3. 学会等名<br>令和2年度知的財産保護包括協力推進事業日中共同研究第三回ワークショップ (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2021年                                              |

|                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                    |
| 2. 発表標題<br>Overview of Big Data Protection in Japan |
| 3. 学会等名<br>第3回日独・知的財産法&情報法セミナーシリーズ (招待講演) (国際学会)    |
| 4. 発表年<br>2021年                                     |

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                                            |
| 2. 発表標題<br>侵害プレミアムを考慮した相当実施料額の損害賠償についての研究の方向性               |
| 3. 学会等名<br>令和2年度 知的財産保護包括協力推進事業 日中共同研究 第一回研究者会議（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2020年                                             |

|                                                            |
|------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                                           |
| 2. 発表標題<br>侵害プレミアムを考慮した相当実施料額をどのように算定するか                   |
| 3. 学会等名<br>令和2年度知的財産保護包括協力推進事業日中共同研究第三回ワークショップ（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2021年                                            |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                     |
| 2. 発表標題<br>COVID-19と特許権の制限又は自発的取組み   |
| 3. 学会等名<br>2021ライフサイエンス知財フォーラム（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2021年                      |

|                                            |
|--------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                           |
| 2. 発表標題<br>営業秘密侵害に基づく損害賠償 エディオンリフォーム事業情報事件 |
| 3. 学会等名<br>商事法務知的財産判例研究会（招待講演）             |
| 4. 発表年<br>2020年                            |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                     |
| 2. 発表標題<br>特許権侵害による損害賠償 特許法102条1項の解釈 |
| 3. 学会等名<br>商事法務知的財産判例研究会 (招待講演)      |
| 4. 発表年<br>2020年                      |

|                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Masabumi Suzuki                                                                          |
| 2. 発表標題<br>Trade Secrets Protection in Japan: Overview and Emerging Issues                          |
| 3. 学会等名<br>International Conference on Trade Secret Protection - Asia at a Crossroads (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2020年                                                                                     |

|                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Masabumi Suzuki                                                                                     |
| 2. 発表標題<br>Promotion of Data Economy and Intellectual Property - Some Lessons from Japanese Experiences        |
| 3. 学会等名<br>Law, Technology and Disruption Conference (organized by City University of Hong Kong) (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2021年                                                                                                |

|                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Masabumi Suzuki                                                                |
| 2. 発表標題<br>The Impact of IP Teaching and Researching on Public Policy                     |
| 3. 学会等名<br>The Third IP & Innovation Researchers of Asia (IPIRA) Conference (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2021年                                                                           |

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘                  |
| 2. 発表標題<br>日本における最近の著作権法改正        |
| 3. 学会等名<br>日韓著作権フォーラム（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2020年                   |

|                                                            |
|------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴                                           |
| 2. 発表標題<br>日本商標法上の越境取引・インターネット上の商標権侵害                      |
| 3. 学会等名<br>知的財産国際シンポジウム「インターネット上の商標権侵害に関する諸問題」（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2021年                                            |

|                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>小嶋 崇弘                                                    |
| 2. 発表標題<br>表示稀釈および表示汚染により著名表示主体に損害が生じているとして不正競争防止法2条1項2号の適用が肯定された事例 |
| 3. 学会等名<br>AIPPI第196回判例研究会（招待講演）                                    |
| 4. 発表年<br>2021年                                                     |

|                                          |
|------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Christoph Rademacher          |
| 2. 発表標題<br>（司会を担当した）                     |
| 3. 学会等名<br>第3回日独・知的財産法&情報法セミナーシリーズ（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2021年                          |

|                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                                                            |
| 2. 発表標題<br>Japan's Intellectual Property High Court: Its History, Status Quo and Challenges |
| 3. 学会等名<br>粵港澳大湾区知的財産協力発展会議（招待講演）（国際学会）                                                     |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                             |

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                     |
| 2. 発表標題<br>A Theory of Intellectual Property         |
| 3. 学会等名<br>第3回MST International Workshop（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2020年                                      |

|                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                                                                  |
| 2. 発表標題<br>AI and Patentability (Inventive Step)                                  |
| 3. 学会等名<br>Artificial Intelligence & Intellectual Property Conference（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                   |

|                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                                                         |
| 2. 発表標題<br>（すべてのセッションに参加して議論を行った）                                        |
| 3. 学会等名<br>The 8th VIPP (Visionary IP Professors) Roundtable（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2019年                                                          |

|                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                                                        |
| 2. 発表標題<br>Patent Markets, SMEs and Trolls?, From Japanese Perspectives |
| 3. 学会等名<br>神戸大学ELSワークショップ(招待講演)(国際学会)                                   |
| 4. 発表年<br>2020年                                                         |

|                                                          |
|----------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                                         |
| 2. 発表標題<br>営業秘密の管理任務に違背したデータ複製行為と営業秘密領得罪 - 日産自動車商品企画情報事件 |
| 3. 学会等名<br>商事法務知的財産判例研究会(招待講演)                           |
| 4. 発表年<br>2019年                                          |

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                                                  |
| 2. 発表標題<br>アメリカの営業秘密保護法制について                                      |
| 3. 学会等名<br>日弁連ライブ実務研修『知的財産に関する研修会2019 - 立法・判例の最新動向を踏まえて - 』(招待講演) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                   |

|                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                                                          |
| 2. 発表標題<br>Introduction to the Japanese Unfair Competition Prevention Act |
| 3. 学会等名<br>IP Studies III(招待講演)(国際学会)                                     |
| 4. 発表年<br>2019年                                                           |



|                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                                                                          |
| 2. 発表標題<br>Conflict between Rights-Based Theory and Utilitarian Theory in the Field of IP |
| 3. 学会等名<br>第3回MST InternationalWorkshop (招待講演) (国際学会)                                     |
| 4. 発表年<br>2020年                                                                           |

|                                             |
|---------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                            |
| 2. 発表標題<br>国境を越えた行為と知的財産権侵害 - 特許権を例として -    |
| 3. 学会等名<br>中日知的財産権 (深セン) サミット (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                             |

|                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                            |
| 2. 発表標題<br>Enforcement of Standard Essential Patents: A View from a Japanese IP Scholar     |
| 3. 学会等名<br>法と経済学会・2019年度全国大会 Panel on “Intellectual Property and Competition Policy” (招待講演) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                             |

|                            |
|----------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文           |
| 2. 発表標題<br>データの越境流通と国際経済法  |
| 3. 学会等名<br>国際経済法研究会 (招待講演) |
| 4. 発表年<br>2019年            |

|                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                                            |
| 2. 発表標題<br>Tensions between Harmonization and Local Aspects of Intellectual Property Law                    |
| 3. 学会等名<br>Dean's Lecture Series at Pannasastra University, Faculty of Law and Public Affairs (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                             |

|                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                                       |
| 2. 発表標題<br>Protection of Trade Secrets in Court Proceedings in Japan                                   |
| 3. 学会等名<br>Special Lecture at the Office of the President of the Supreme Court, Thailand (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                        |

|                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                                                  |
| 2. 発表標題<br>Trade Secrets in Trading of Infringing Goods: Lessons from Japanese Unfair Competition Prevention Act? |
| 3. 学会等名<br>The EPIP (European Policy for Intellectual Property) 14th Conference (招待講演) (国際学会)                     |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                                   |

|                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                                                            |
| 2. 発表標題<br>The Protection of Trade Secrets: Trading of Infringing Goods and Extra-territorial Aspects                       |
| 3. 学会等名<br>The 10th Japan-Taiwan Symposium on IP Law: Recent Theory and Practice of Intellectual Property Law (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                                             |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                    |
| 2. 発表標題<br>営業秘密の保護について - 国際的側面に着目して |
| 3. 学会等名<br>第4回国際知財制度研究会（招待講演）       |
| 4. 発表年<br>2020年                     |

|                                                 |
|-------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                |
| 2. 発表標題<br>情報・データの法的保護を巡る諸問題 - 知的財産法と国際経済法の視点から |
| 3. 学会等名<br>大阪大学「プラットフォームビジネス」研究会（招待講演）          |
| 4. 発表年<br>2020年                                 |

|                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                         |
| 2. 発表標題<br>The Impact of IP and Innovation Scholarship on Policy Making                  |
| 3. 学会等名<br>The Second IP & Innovation Researchers of Asia (IPIRA) Conference（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2020年                                                                          |

|                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田 健                                                        |
| 2. 発表標題<br>Infringement of Medical Use Claims in Japan                 |
| 3. 学会等名<br>Fordham Intellectual Property Law & Policy Conference（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2019年                                                        |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田 健                  |
| 2. 発表標題<br>データの取引と知的財産法によるデータの保護 |
| 3. 学会等名<br>国際経済法学会               |
| 4. 発表年<br>2019年                  |

|                                              |
|----------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田 健                              |
| 2. 発表標題<br>ビジネス方法の特許保護 - ビジネス方法はどこまで「発明」か -  |
| 3. 学会等名<br>日本弁理士会中央知的財産研究所 第17回公開フォーラム（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2019年                              |

|                             |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名<br>駒田 泰士            |
| 2. 発表標題<br>論点の整理            |
| 3. 学会等名<br>著作権法学会研究大会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2019年             |

|                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘                                                                                                     |
| 2. 発表標題<br>The “Flexible” Copyright Exceptions Introduced in Japan: A Future Model for European Civil Law Countries? |
| 3. 学会等名<br>Second IP Researchers Europe Conference (IPRE) in Geneva (国際学会)                                           |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                                      |

|                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘                                                                                                           |
| 2. 発表標題<br>Text-and-Data Mining Exception                                                                                  |
| 3. 学会等名<br>Challenges of the Directive 2019/790 on Copyright and Related Rights in the Digital Single Market (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                                            |

|                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘                                                                                                               |
| 2. 発表標題<br>The “Flexible” Copyright Exception in Civil Law Countries: 2018 Amendment in Japan and the Future Model for Europe? |
| 3. 学会等名<br>Cracow IP Colloquium (招待講演) (国際学会)                                                                                  |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                                                |

|                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘                                                            |
| 2. 発表標題<br>The “Flexible” Japanese Copyright Exception: A Model for Europe? |
| 3. 学会等名<br>Workshop Japanese IP Law (招待講演) (国際学会)                           |
| 4. 発表年<br>2020年                                                             |

|                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘                                                                                  |
| 2. 発表標題<br>Copyright Exception for Text-and-Data Mining: Japan as “Paradise for Machine Learning” |
| 3. 学会等名<br>Second IPIRA Conference in Jakarta (国際学会)                                              |
| 4. 発表年<br>2020年                                                                                   |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴                |
| 2. 発表標題<br>近時の著作権法改正とデジタル・アーカイブ |
| 3. 学会等名<br>第58回 [ 特別編 ] ARCセミナー |
| 4. 発表年<br>2019年                 |

|                                                              |
|--------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴                                             |
| 2. 発表標題<br>特許法102条2項・3項に基づく損害額の算定 ( 知財高判令元・6・7平30 (ネ)10063 ) |
| 3. 学会等名<br>知的財産判例研究会                                         |
| 4. 発表年<br>2019年                                              |

|                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>小嶋 崇弘                                                                                                        |
| 2. 発表標題<br>Protection of Shape Marks with a Technical Function: A Comparative Analysis                                  |
| 3. 学会等名<br>The 10th Japan-Taiwan Symposium on IP Law “Recent Theory and Practice of Intellectual Property Law” ( 国際学会 ) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                                         |

|                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Christoph Rademacher                                                                                  |
| 2. 発表標題<br>SEP Governance in East Asia: Reviewing the Effect of Dispute Resolution Guidelines in Japan and China |
| 3. 学会等名<br>IP Scholars Conference 2019 ( 国際学会 )                                                                  |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                                  |

|                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Christoph Rademacher                                                                                  |
| 2. 発表標題<br>The New Big Data Protection Mechanism in Japan: Helpful, Harmful, or Not That Big (a Deal) after All? |
| 3. 学会等名<br>38th Annual ATRIP Conference (国際学会)                                                                   |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                                  |

|                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                                                          |
| 2. 発表標題<br>(全てのセッションにおいて議論を行った)                                                           |
| 3. 学会等名<br>The 5th Roundtable of the "VIPP for Asian IP Cooperation Project" (招待講演)(国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                           |

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                     |
| 2. 発表標題<br>日本におけるビッグ・データの保護の動向 - 平成30年不正競争防止法改正の概要 - |
| 3. 学会等名<br>日中共同研究事業深セン会議(招待講演)(国際学会)                 |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|                                             |
|---------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                            |
| 2. 発表標題<br>ビッグ・データの保護 - 平成30年不正競争防止法改正の概要 - |
| 3. 学会等名<br>日本ライセンス協会2018年年次大会(招待講演)         |
| 4. 発表年<br>2018年                             |

|                                                  |
|--------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                 |
| 2. 発表標題<br>(全てのセッションにおいて議論を行った)                  |
| 3. 学会等名<br>The 6th VIPP Roundtable (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                  |

|                                                               |
|---------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                              |
| 2. 発表標題<br>Trade Mark Function Theory in Japan                |
| 3. 学会等名<br>商標法シンポジウム “Trademark Law in New Era” (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                               |

|                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                              |
| 2. 発表標題<br>特許法の先使用权に関する一考察 - 制度趣旨に鑑みた要件論の展開 - |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会                       |
| 4. 発表年<br>2019年                               |

|                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                                                                              |
| 2. 発表標題<br>Looking at Patent System from an Institutional Perspective                                         |
| 3. 学会等名<br>Conference on “Patent Law from an International Perspective” and “IP and the Public Domain” (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                               |



|                               |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之              |
| 2. 発表標題<br>結合商標の類似性～最高裁判決の分析～ |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会       |
| 4. 発表年<br>2019年               |

|                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                                          |
| 2. 発表標題<br>( “ Patents Panel ” の司会として参加した )                               |
| 3. 学会等名<br>The 4th Asian IP Work-In-Progress Conference ( 招待講演 ) ( 国際学会 ) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                           |

|                                                       |
|-------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                      |
| 2. 発表標題<br>ビッグ・データの不正利用行為に対する規律 - 平成30年不正競争防止法改正の論点 - |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会                               |
| 4. 発表年<br>2019年                                       |

|                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                                |
| 2. 発表標題<br>プロセスの通過点としての特許「権」という観点からみた無効審判・異議申立て・均等論・差止請求の制限のあり方 |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会                                         |
| 4. 発表年<br>2019年                                                 |

|                         |
|-------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之        |
| 2. 発表標題<br>知的財産法学の課題    |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会 |
| 4. 発表年<br>2019年         |

|                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田村 善之                                                       |
| 2. 発表標題<br>ダウンロード違法化拡大になぜ反対しなければならないのか? - インターネット時代の著作権法における寛容的利用の意義 - |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム「ダウンロード違法化の対象範囲の見直し これまでとこれから」                        |
| 4. 発表年<br>2019年                                                        |

|                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 将文                                                                                                                                            |
| 2. 発表標題<br>Standard Essential Patent - Recent Global Cases and Development: A View from Japan                                                               |
| 3. 学会等名<br>The 2018 SJTU Forum on Intellectual Property and Competition Law: International Conference on Law and Policy on Digital Governance (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                                                                                             |

|                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 将文                                                                                                                         |
| 2. 発表標題<br>Restriction of IPRs for Public Policy Purposes - Analysis of the WTO Panel Report on the Australian Plain Packaging Case -    |
| 3. 学会等名<br>The 9th Japan-Taiwan Symposium on Intellectual Property Law, Intellectual Property Rights in a Changing Society (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                                                                          |

|                                                  |
|--------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                 |
| 2. 発表標題<br>知的財産制度関係のWTO紛争事例（豪州プレインパッケージ事件を中心として） |
| 3. 学会等名<br>第3回国際知財制度研究会（招待講演）                    |
| 4. 発表年<br>2018年                                  |

|                                         |
|-----------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                        |
| 2. 発表標題<br>標準必須特許権の行使を巡る国際動向と法的分析       |
| 3. 学会等名<br>日中共同研究第3回ワークショップ（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2019年                         |

|                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                         |
| 2. 発表標題<br>Hot, Impactful, and Important Research Topics: What and How to Choose?（パネル参加） |
| 3. 学会等名<br>Workshop for IP Teachers and Researchers（招待講演）（国際学会）                          |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                          |

|                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                                             |
| 2. 発表標題<br>Cross-border Patent Infringement                                                                  |
| 3. 学会等名<br>Conference on “Patent Law from an International Perspective” and “IP and the Public Domain”（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                              |

|                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鈴木 將文                                                                                              |
| 2. 発表標題<br>Restriction on IP for Public Policy: An Assessment on the Case of Tobacco Plain Packaging Measures |
| 3. 学会等名<br>Conference on “Patent Law from an International Perspective” and “IP and the Public Domain” (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                               |

|                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Branislav Hazucha                                                        |
| 2. 発表標題<br>Copyright Exhaustion in the Digital Age: An Empirical Study              |
| 3. 学会等名<br>Asian Pacific Copyright Association (APCA) Conference 2018 (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                     |

|                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Branislav Hazucha                                         |
| 2. 発表標題<br>Trademark Infringement and Intermediary: New Trends in EU |
| 3. 学会等名<br>Workshop on Trademark Law for the New Era (招待講演) (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2018年                                                      |

|                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Branislav Hazucha                                                                                  |
| 2. 発表標題<br>Concept of Public Domain in IP Discourse                                                           |
| 3. 学会等名<br>Conference on “Patent Law from an International Perspective” and “IP and the Public Domain” (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                               |

|                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Branislav Hazucha                                              |
| 2. 発表標題<br>Impact of New Technologies on the Scope of Copyright Liability |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会                                                   |
| 4. 発表年<br>2019年                                                           |

|                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Branislav Hazucha                                                             |
| 2. 発表標題<br>A Pragmatic Justification of Copyright Protection: When Theory Meets Practice |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会                                                                  |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                          |

|                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                                                                                 |
| 2. 発表標題<br>A Empirical Analysis of Recent Trade Secret Litigation in the United States and Japan |
| 3. 学会等名<br>Bay Area IP Works-In-Progress Colloquium (招待講演) (国際学会)                                |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                                  |

|                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                                                                                                                   |
| 2. 発表標題<br>An Empirical Analysis of the Recent Trade Secret Litigation in the United States and Japan: Comparison and Implications |
| 3. 学会等名<br>Bay Area IP Study Group (招待講演) (国際学会)                                                                                   |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                                                                    |

|                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>James Pooley, Mindy M. Morton & Takakuni Yamane                        |
| 2. 発表標題<br>Panel discussion of Practical Issues of DTSA: Lesson from Waymo v Uber |
| 3. 学会等名<br>Bay Area IP Study Group (招待講演) (国際学会)                                  |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                   |

|                                    |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                   |
| 2. 発表標題<br>営業秘密の不正使用・開示のおそれに対する差止め |
| 3. 学会等名<br>AIPPI判例研究会 (招待講演)       |
| 4. 発表年<br>2019年                    |

|                                    |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                   |
| 2. 発表標題<br>営業秘密の不正使用・開示のおそれに対する差止め |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会            |
| 4. 発表年<br>2019年                    |

|                                                            |
|------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山根 崇邦                                           |
| 2. 発表標題<br>知的財産権の正当化根拠論の現代的意義 - Merges教授とLemley教授の論争を契機として |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会                                    |
| 4. 発表年<br>2019年                                            |

|                         |
|-------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎        |
| 2. 発表標題<br>AIと進歩性等      |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会 |
| 4. 発表年<br>2019年         |

|                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>中山 一郎                                                                                              |
| 2. 発表標題<br>Mental Activities and Patent Eligibility in Japan                                                  |
| 3. 学会等名<br>Conference on “Patent Law from an International Perspective” and “IP and the Public Domain” (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                               |

|                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田 健                                                                            |
| 2. 発表標題<br>Emerging IP Issues in Japan: The Expanding Role of “Use Invention” in Japan     |
| 3. 学会等名<br>The 5th Roundtable of the “VIPP for Asian IP Cooperation Project” (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                            |

|                                                  |
|--------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田 健                                  |
| 2. 発表標題<br>標準必須特許 (SEP) ビジネスモデルの新たな模索 - 法制度の観点から |
| 3. 学会等名<br>日本知財学会第16回年次学術研究発表会 (招待講演)            |
| 4. 発表年<br>2018年                                  |

|                          |
|--------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田 健          |
| 2. 発表標題<br>先使用権の成立要件について |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会  |
| 4. 発表年<br>2019年          |

|                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田 健                                                                                               |
| 2. 発表標題<br>Introduction of New Copyright Limitations in Japan: An Alternative to Fair Use                     |
| 3. 学会等名<br>Conference on “Patent Law from an International Perspective” and “IP and the Public Domain” (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                                                                                               |

|                                                 |
|-------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田 健                                 |
| 2. 発表標題<br>審議会における議論の経緯：制度設計の視点はどうか             |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム「ダウンロード違法化の対象範囲の見直し これまでとこれから」 |
| 4. 発表年<br>2019年                                 |

|                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>橋 雄介                                                                                       |
| 2. 発表標題<br>The History of Patent Indirect Infringement in Japan from the Perspective of Public Domain |
| 3. 学会等名<br>第5回知的財産法国際研究会 (国際学会)                                                                       |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                                       |



|                         |
|-------------------------|
| 1. 発表者名<br>橘 雄介         |
| 2. 発表標題<br>特許権の間接侵害の理論  |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会 |
| 4. 発表年<br>2019年         |

|                                                    |
|----------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>駒田 泰土                                   |
| 2. 発表標題<br>不法行為・事務管理・不当利得に関する準拠法                   |
| 3. 学会等名<br>国際私法学会シンポジウム「施行10年を経た法の適用に関する通則法」(国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                    |

|                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>駒田 泰土                                                                                       |
| 2. 発表標題<br>La liberte de parodie a la lumiere de la propriete intellectuelle: aspects de droit compare |
| 3. 学会等名<br>Conference CDA EPITOUL et IFR (招待講演)(国際学会)                                                  |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                                        |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>駒田 泰土               |
| 2. 発表標題<br>理由のない侵害警告と信用毀損の不正競争 |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会        |
| 4. 発表年<br>2019年                |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘               |
| 2. 発表標題<br>知的財産保護の多層化と自由の確保    |
| 3. 学会等名<br>国際経済法学会（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2018年                |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘                 |
| 2. 発表標題<br>ブロッキングとリーチサイトをめぐる議論状況 |
| 3. 学会等名<br>法とコンピュータ学会（招待講演）      |
| 4. 発表年<br>2018年                  |

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>上野 達弘                                            |
| 2. 発表標題<br>Recent Amendment of Japanese Copyright Act       |
| 3. 学会等名<br>Korea-Japan Copyright Forum in Seoul（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2018年                                             |

|                                                       |
|-------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>奥邨 弘司                                      |
| 2. 発表標題<br>日本法の現況                                     |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム「ネット上の海賊版対策と法目的の複層的実現手法」（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2019年                                       |

|                                                       |
|-------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>奥邨 弘司                                      |
| 2. 発表標題<br>リーチサイト規制の概要～文化審議会報告書と規定案をもとに～              |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム「ダウンロード違法化の対象範囲の見直し これまでとこれから」(招待講演) |
| 4. 発表年<br>2019年                                       |

|                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>奥邨 弘司                              |
| 2. 発表標題<br>リバースエンジニアリング再考～30条の4とOracle事件を契機に～ |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会                       |
| 4. 発表年<br>2019年                               |

|                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>金子 敏哉                                                                |
| 2. 発表標題<br>TPP, Copyright and Secondary Creation                                |
| 3. 学会等名<br>Harvard Law School East Asian Legal Studies Roundtable (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                 |

|                                                        |
|--------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>金子 敏哉                                       |
| 2. 発表標題<br>「緊急声明」とその後の動き(意見書・「検証レポート」等)、私的複製についての私的な見解 |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム「ダウンロード違法化の対象範囲の見直し これまでとこれから」        |
| 4. 発表年<br>2019年                                        |

|                       |
|-----------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴      |
| 2. 発表標題<br>商標的使用論の再構成 |
| 3. 学会等名<br>日本工業所有権法学会 |
| 4. 発表年<br>2018年       |

|                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴                                                                           |
| 2. 発表標題<br>商品形態の商品等表示性の肯定/否定のための証拠(宣伝広告、アンケート調査等) - ユニットシェルフ形態事件(知財高判平30・3・29平成29(ネ)10083) |
| 3. 学会等名<br>株式会社商事法務主催「知的財産判例研究会」                                                           |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                            |

|                             |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴            |
| 2. 発表標題<br>いわゆる「マリカー」判決について |
| 3. 学会等名<br>日本商標協会関西支部会      |
| 4. 発表年<br>2018年             |

|                             |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴            |
| 2. 発表標題<br>米国商標法における商品形態の保護 |
| 3. 学会等名<br>商品形態保護に関するシンポジウム |
| 4. 発表年<br>2018年             |

|                               |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名<br>宮脇 正晴              |
| 2. 発表標題<br>商標の類否判断における「取引の実情」 |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会       |
| 4. 発表年<br>2019年               |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>平澤 卓人               |
| 2. 発表標題<br>表現の自由の観点からの商標法の権利制限 |
| 3. 学会等名<br>日本工業所有権法学会          |
| 4. 発表年<br>2018年                |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>平澤 卓人                    |
| 2. 発表標題<br>商標権侵害訴訟における商標の類似性要件の実証研究 |
| 3. 学会等名<br>パブリックドメイン研究会             |
| 4. 発表年<br>2019年                     |

|                         |
|-------------------------|
| 1. 発表者名<br>小嶋 崇弘        |
| 2. 発表標題<br>標識法における機能性法理 |
| 3. 学会等名<br>日本工業所有権法学会   |
| 4. 発表年<br>2018年         |

|                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Christoph Rademacher                                                           |
| 2. 発表標題<br>Harmonization of “Reasonable Efforts”: Trade Secret Reform in Japan and the EU |
| 3. 学会等名<br>Trade Secrets and Innovation - New Paradigms/New Challenges (招待講演) (国際学会)      |
| 4. 発表年<br>2018年                                                                           |

〔図書〕 計21件

|                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之(編著)             | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>勁草書房                  | 5. 総ページ数<br>504 |
| 3. 書名<br>知財とパブリック・ドメイン 第1巻 特許法篇 |                 |

|                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之(編著)              | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>勁草書房                   | 5. 総ページ数<br>416 |
| 3. 書名<br>知財とパブリック・ドメイン 第2巻 著作権法篇 |                 |

|                                         |                 |
|-----------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之(編著)                     | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>勁草書房                          | 5. 総ページ数<br>336 |
| 3. 書名<br>知財とパブリック・ドメイン 第3巻 不正競争防止法・商標法篇 |                 |

|                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之          | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>弘文堂            | 5. 総ページ数<br>512 |
| 3. 書名<br>知的財産権と損害賠償（第3版） |                 |

|                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>平嶋竜太 = 宮脇正晴 = 蘆立順美 | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣                | 5. 総ページ数<br>368 |
| 3. 書名<br>入門 知的財産法〔第3版〕       |                 |

|                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之 = 山根 崇邦（編著） | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>勁草書房              | 5. 総ページ数<br>368 |
| 3. 書名<br>知財のフロンティア 第1巻      |                 |

|                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之 = 山根 崇邦（編著） | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>勁草書房              | 5. 総ページ数<br>328 |
| 3. 書名<br>知財のフロンティア 第2巻      |                 |

|                                                                               |                 |
|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>窪田 充見 = 大塚 直 = 手嶋 豊 = 久保野 恵美子 = 泉水 文雄 = 建部 雅 = 前田 健 = 若林 三奈 = 和田 真一 | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>弘文堂                                                                 | 5. 総ページ数<br>560 |
| 3. 書名<br>事件類型別 不法行為法                                                          |                 |

|                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>高倉 成男 = 木下 昌彦 = 金子 敏哉 | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣                   | 5. 総ページ数<br>372 |
| 3. 書名<br>知的財産法制と憲法的価値           |                 |

|                                                                 |                 |
|-----------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>小泉 直樹 = 駒田 泰士 = 井関 涼子 = 上野 達弘 = 奥邨 弘司 = 鈴木 將文 = 宮脇 正晴 | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>弘文堂                                                   | 5. 総ページ数<br>424 |
| 3. 書名<br>知的財産法演習ノート (第5版)                                       |                 |

|                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 著者名<br>金井 重彦 = 鈴木 將文 = 松嶋 隆弘 | 4. 発行年<br>2022年  |
| 2. 出版社<br>勁草書房                  | 5. 総ページ数<br>1280 |
| 3. 書名<br>商標法コンメンタール (新版)        |                  |



|                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>茶園 成樹 = 上野 達弘 (編著) | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>勁草書房               | 5. 総ページ数<br>304 |
| 3. 書名<br>デザイン保護法             |                 |

|                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之、時井 真、酒迎 明洋 | 4. 発行年<br>2020年 |
| 2. 出版社<br>信山社出版            | 5. 総ページ数<br>322 |
| 3. 書名<br>プラクティス知的財産法 特許法   |                 |

|                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之、高瀬 亜富、平澤 卓人 | 4. 発行年<br>2020年 |
| 2. 出版社<br>信山社出版             | 5. 総ページ数<br>368 |
| 3. 書名<br>プラクティス知的財産法 著作権法   |                 |

|                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>前田 健、金子 敏哉、青木 大也 | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>弘文堂              | 5. 総ページ数<br>122 |
| 3. 書名<br>図録 知的財産法          |                 |

|                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>上野 達弘             | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣               | 5. 総ページ数<br>260 |
| 3. 書名<br>教育現場と研究者のための著作権ガイド |                 |

|                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>愛知 靖之、前田 健、金子 敏哉、青木 大也 | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣                    | 5. 総ページ数<br>542 |
| 3. 書名<br>知財判例コレクション              |                 |

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田村 善之 | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣   | 5. 総ページ数<br>510 |
| 3. 書名<br>知財の理論  |                 |

|                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>愛知 靖之、前田 健、金子 敏哉、青木 大也 | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣                    | 5. 総ページ数<br>520 |
| 3. 書名<br>知的財産法                   |                 |

|                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>高林 龍、三村量一、上野達弘    | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>日本評論社             | 5. 総ページ数<br>248 |
| 3. 書名<br>年報知的財産法2018 - 2019 |                 |

|                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>小泉直樹、田村善之、駒田泰士、上野達弘 | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣                 | 5. 総ページ数<br>232 |
| 3. 書名<br>著作権判例百選(第6版)         |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>田村善之HP<br/> <a href="http://webpark2085.sakura.ne.jp/">http://webpark2085.sakura.ne.jp/</a><br/>         北海道大学情報法政策学研究センターHP<br/> <a href="https://www.juris.hokudai.ac.jp/riilp/">https://www.juris.hokudai.ac.jp/riilp/</a><br/>         橋 雄介「日米の重要判決から考える特許権の間接侵害の定義」(YouTube 知財実務オンライン)<br/> <a href="https://www.youtube.com/watch?v=sLyrZ0GT86I">https://www.youtube.com/watch?v=sLyrZ0GT86I</a><br/>         山本 真祐子「氏名の商標『解禁』近づく 法改正の議論まとまる」(日経新聞オンライン)<br/> <a href="https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UC161TY0W2A111C2000000/">https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UC161TY0W2A111C2000000/</a></p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

6. 研究組織

|                   | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                        | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                 | 備考 |
|-------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------|----|
| 研究<br>分<br>担<br>者 | 中山 一郎<br><br>(NAKAYAMA Ichiro)<br><br>(10402140) | 北海道大学・法学研究科・教授<br><br><br><br>(10101) |    |

## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                      | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                           | 備考 |
|-------|------------------------------------------------|-------------------------------------------------|----|
| 研究分担者 | HAZUCHA B<br>(HAZUCHA Branislav)<br>(30452808) | 北海道大学・法学研究科・教授<br><br>(10101)                   |    |
| 研究分担者 | 山根 崇邦<br>(YAMANE Takakuni)<br>(70580744)       | 同志社大学・法学部・教授<br><br>(34310)                     |    |
| 研究分担者 | 鈴木 将文<br>(SUZUKI Masabumi)<br>(90345835)       | 名古屋大学・法学研究科・教授<br><br>(13901)                   |    |
| 研究分担者 | 吉田 広志<br>(YOSHIDA Hiroshi)<br>(70360881)       | 北海道大学・法学研究科・教授<br><br>(10101)                   |    |
| 研究分担者 | 前田 健<br>(MAEDA Takeshi)<br>(80456095)          | 神戸大学・法学研究科・教授<br><br>(14501)                    |    |
| 研究分担者 | 橘 雄介<br>(TACHIBANA Yusuke)<br>(40822664)       | 福岡工業大学・社会環境学部・助教<br><br>(37112)                 |    |
| 研究分担者 | 駒田 泰士<br>(KOMADA Yasuto)<br>(30334288)         | 上智大学・法学部・教授<br><br>(32621)                      |    |
| 研究分担者 | 上野 達弘<br>(UENO Tatsuhiko)<br>(80338574)        | 早稲田大学・法学大学院（法務研究科・法務教育研究センター）・教授<br><br>(32689) |    |

## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                          | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                  | 備考 |
|-------|----------------------------------------------------|----------------------------------------|----|
| 研究分担者 | 奥邨 弘司<br><br>(OKUMURA Koji)<br><br>(60386802)      | 慶應義塾大学・法務研究科(三田)・教授<br><br><br>(32612) |    |
| 研究分担者 | 金子 敏哉<br><br>(KANEKO Toshiya)<br><br>(20548250)    | 明治大学・法学部・専任教授<br><br><br>(32682)       |    |
| 研究分担者 | 村井 麻衣子<br><br>(MURAI Maiko)<br><br>(80375518)      | 筑波大学・図書館情報メディア系・准教授<br><br><br>(12102) |    |
| 研究分担者 | 比良 友佳理<br><br>(HIRA Yukari)<br><br>(40733077)      | 京都教育大学・教育学部・講師<br><br><br>(14302)      |    |
| 研究分担者 | 孫 友容<br><br>(SUN Yourong)<br><br>(40905767)        | 佐賀大学・経済学部・講師<br><br><br>(17201)        |    |
| 研究分担者 | 宮脇 正晴<br><br>(MIYAWAKI Masaharu)<br><br>(70368017) | 立命館大学・法学部・教授<br><br><br>(34315)        |    |
| 研究分担者 | 平澤 卓人<br><br>(HIRASAWA Takuto)<br><br>(90815185)   | 福岡大学・法学部・講師<br><br><br>(37111)         |    |
| 研究分担者 | 小嶋 崇弘<br><br>(KOJIMA Takahiro)<br><br>(80722264)   | 駒澤大学・法学部・准教授<br><br><br>(32617)        |    |

## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                                     | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)         | 備考 |
|-------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------|----|
| 研究分担者 | 山本 真祐子<br>(YAMAMOTO Mayuko)<br>(90965980)                     | 群馬大学・情報学部・講師<br><br>(12301)   |    |
| 研究分担者 | R a d e m a c h e r C<br>(Rademacher Christoph)<br>(30609772) | 早稲田大学・法学学術院・教授<br><br>(32689) |    |

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計10件

|                                                                                                       |                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 国際研究集会<br>パブリック・ドメイン研究会                                                                               | 開催年<br>2022年～2022年 |
| 国際研究集会<br>国際シンポジウム「サプライチェーンと知的財産制度 - 特許消尽論を中心として - 」                                                  | 開催年<br>2022年～2022年 |
| 国際研究集会<br>The International IP Workshop for Junior Researchers                                        | 開催年<br>2020年～2023年 |
| 国際研究集会<br>パブリック・ドメイン研究会                                                                               | 開催年<br>2018年～2022年 |
| 国際研究集会<br>国際シンポジウム「日中著作権法における損害賠償制度」                                                                  | 開催年<br>2021年～2021年 |
| 国際研究集会<br>ワークショップ “Recent Trends in Fair Use Exception”                                               | 開催年<br>2021年～2021年 |
| 国際研究集会<br>The International IP Workshop for Junior Researchers                                        | 開催年<br>2018年～2018年 |
| 国際研究集会<br>Trade Secret Protection and the Public Domain: New Developments in the EU, the US and Japan | 開催年<br>2021年～2021年 |
| 国際研究集会<br>第3回メタ科学技術研究国際ワークショップ                                                                        | 開催年<br>2020年～2020年 |
| 国際研究集会<br>Conference on “Patent Law from an International Perspective” and “IP and the Public Domain” | 開催年<br>2019年～2019年 |

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|---------|---------|